

明治三十二年五月現在
長野縣知事官房紳編纂

長野縣令達類纂
卷中

柏興活版所出版

C7
1113
55-03

長野縣現行令達類纂目次 會計 縣費

縣會計規則	(明治卅二年三月廿九日)	訓令第四十號	一
縣會計規則ニ關スル帳簿其他ノ様式	(明治卅二年三月卅一日)	訓令第五十號	一
縣會計檢査規程	(明治卅三年七月廿八日)	訓令第五十號	一〇〇
縣金庫出納事務規程	(明治卅二年三月廿日)	訓令第三十號	一〇二
縣金庫檢査規程	(明治卅二年三月二十日)	訓令第卅一號	一六四
縣金庫名稱位置及出納區域	(明治卅二年三月廿八日)	告示第八十五號	一六八
縣金庫ニ於テ提供	(明治卅二年三月廿八日)	達第五十號	一七〇
縣金庫ニ於テ使用	(明治卅二年三月卅一日)	達第五十七號	一七一
縣金庫取扱規程	(明治卅二年三月廿四日)	訓令第卅三號	全
縣金庫取扱規程	(明治卅二年三月廿五日)	訓令第卅四號	一九三
縣金庫取扱規程	(明治卅七年三月五日)	訓令第卅一號	二〇〇
縣歲入年度區分	(明治三十年四月九日)	訓令第四十八號	二〇四
縣歲入收納閉鎖期限	(明治三十年四月廿四日)	訓令第五十七號	二〇五
縣歲入調定額明細書様式	(明治三十年四月廿八日)	訓令第六十三號	全
縣歲入科目	(明治三十年五月十二日)	訓令第六十七號	二二〇
縣稅外諸收入收納取扱規程	(明治卅二年三月卅一日)	訓令第五十一號	二二六



目次

縣稅及縣稅外雜收入ノ徵收金納付仕譯書々式	(明治三十年七月七日)	訓令第九十一號	二三八
縣稅滯納處分報告表様式	(明治卅一年五月廿四日)	訓令第六十號	二四〇
縣費給與規則	(明治卅一年四月一日)	訓令第卅一號	二四五
巡查部長巡查受持區日常月額旅費支給規程	(明治卅一年三月廿五日)	訓令第卅五號	二五二
地方費支辨ニ係ル旅費請求及領收証書式	(明治卅四年三月十三日)	訓令第卅三號	二五三
出納吏職務取扱ニ關スル心得	(明治三十年三月廿七日)	訓令第卅二號	二五五
吏員罰俸扣除方	(明治廿五年三月廿九日)	訓令第四十七號	二五六
日給履給料給與方	(明治十五年六月九日)	乙第六十六號	二五七
物品會計規則	(明治卅二年三月廿八日)	訓令第四十二號	全

國 費

租稅外諸收入取扱順序	(明治廿六年十二月十一日)	訓令第百六十六號	二九四
歲入歲出外現金取扱順序	(明治廿七年三月一日)	訓令第廿九號	二九九
有價証券取扱順序	(明治廿七年三月七日)	訓令第卅三號	三二四
諸貸付金取扱順序	(明治廿六年五月廿五日)	訓令第八十三號	三二七
國稅外諸收入前渡ヲ受ケタル現金及歲入歲出外現金檢査手續	(明治廿七年二月九日)	訓令第十六號	三三〇
國稅外諸收入前渡ヲ受ケタル現金及歲入歲出外現金檢査手續ヲ警察分署ニ適用ノ件	(明治卅一年五月十三日)	訓令第百五十三號	三三二

歲入歲出外現金出納計算ノ檢査及責任解除ノ件	(明治廿六年五月十八日)	訓令第七十七號	三三二
郡書記ヨリ國庫ニ納ムヘキ官吏遺族扶助法納金引去手續	(明治卅二年三月卅一日)	訓令第四十七號	全
府縣立師範學校長俸給並ニ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法國庫納金引去手續	(明治廿六年五月五日)	訓令第六十八號	三三三
現金出納簿へ登記方	(明治廿五年二月十七日)	訓令第廿四號	三三六
收入官吏ノ爲換納金領收證書ヲ以テ金庫へ拂込方	(明治廿七年七月廿三日)	訓令第百廿六號	全
市町村立小學校教員年功加俸支給方法	(明治卅一年十二月卅日)	訓令第百五十六號	三三七
文官及軍人學校職員ノ恩給扶助料勳章年金受領方	(明治卅一年九月廿二日)	告示第百五十一號	三四〇
恩給證書年金證書檢閱方	(明治三十一年九月廿二日)	訓令第百三號	全
內國旅費減額及月額支給規程	(明治三十一年二月十八日)	訓令第十六號	三四四
警部管轄内出張旅費月額支給規則	(明治三十一年五月廿七日)	訓令第六十二號	三四七
郡長旅費其他支出請求手續	(明治三十三年十月廿九日)	訓令第百五十三號	三五二
警部旅費支出請求手續	(明治廿九年十一月五日)	訓令第百四號	三五七
舟車馬賃實費拂ノ件	(明治卅一年十一月十六日)	訓令第百八十四號	三六二
新兵入營旅費及檢丁旅費電信柱敷地手當金前渡金取扱方	(明治廿五年十一月十八日)	達甲第百八十二號	全
漂着物保存等ニ係ル費用支出方	(明治三十年二月十八日)	訓令第百號	三六三

漂流物公賣代徴收方……………(明治三十一年二月十日) 訓令第十一號) 全

拾得金及賊捨置金等保管金取扱方……………(明治廿五年十二月十九日) 訓令第七十號) 全

懲罰及沒收金ヲ大藏省主管ノ歳入トナス件……………(明治廿四年七月三十一日) 訓令第六六號) 三六四

新聞紙雜誌保証金取扱方……………(明治廿七年二月十日) 訓令第十九號) 全

實業教育費國庫補助法施行規則第三條ノ收支計算書差出方……………(明治廿九年十月三十一日) 達甲第四百七十號) 三六五

宿直及徹夜勤務者食料給與方……………(明治廿四年四月三十日) 達甲第七十七號) 全

用 度

文具規則……………(明治廿八年六月三日) 訓令第六十三號) 三六六

保管物品取扱順序……………(明治廿九年十二月廿一日) 訓令第七十三號) 三六七

官設物品取扱順序……………(明治廿九年十一月九日) 訓令第七七號) 三七八

官設物品引繼目錄雛形……………(明治廿五年三月十日) 訓令第三十四號) 三八三

徴兵検査用器具取扱順序……………(明治廿七年三月廿二日) 訓令第五十一號) 三八四

長野縣現行令達類纂目次 農 商

養 蠶

蠶蛆驅除方……………(明治廿六年六月七日) 告諭第四號) 一

蠶蛆驅除方法等報告方……………(明治廿六年六月十四日) 訓令第百三號) 全

蠶藥發賣並請賣業禁止……………(明治十九年四月廿四日) 甲第六十一號) 全

養蠶ニ需用スル藥品ニ關シ營業者ノ注意……………(明治十五年五月廿六日) 乙第六十一號) 全

蠶 種 檢 査

蠶種検査法施行手續……………(明治三十二年四月廿五日) 縣令第廿七號) 三

蠶種検査所位置及管理區域……………(明治三十二年四月廿五日) 告示第百十六號) 〇

蠶種検査所處務規程……………(明治三十二年四月廿五日) 訓令第六十九號) 一

蠶種検査所員服務心得……………(明治三十一年三月廿七日) 訓令第廿八號) 二

受持區検査員及附屬助手々當支給方……………(明治三十一年四月廿八日) 訓令第四十二號) 二

検査所員出張セントスルトキ許可ヲ受クヘキ件……………(明治三十一年七月一日) 訓令第八十號) 全

不越年夏秋蠶種取締規則……………(明治三十二年三月十七日) 縣令第十九號) 二

學校製造ニ係ル蠶種承認ノ件……………(明治三十一年七月一日) 告示第百九十一號) 二

蠶業講習所ヨリ蠶種配付ヲ受ケントスルモノ注意方……………(明治三十二年三月卅一日) 告示第八十九號) 全

害虫驅除豫防

害蟲驅除豫防法施行規則	(明治廿九年六月廿九日 縣令第三十七號)	二
害蟲驅除豫防方	(明治廿九年六月廿九日 訓令第六十五號)	三
害蟲驅除豫防方	(明治三十一年八月四日 訓令第九十三號)	三
獸醫及蹄鉄工		
獸醫仮免狀下付出願手續	(明治三十三年十月廿九日 縣令第五十八號)	三
開業獸醫轉居届出方	(明治廿二年十二月五日 告示第四百四號)	三
獸醫仮免狀下付出願ノ際取調事項	(明治三十三年十月廿九日 訓令第五十六號)	全
蹄鉄工仮免狀下付出願手續	(明治三十三年九月廿四日 縣令第五十三號)	三
開業蹄鉄工轉住ノ際届出方	(明治廿六年六月五日 告示第五十八號)	四
蹄鉄工仮免狀下付出願之際取調事項	(明治三十三年九月廿四日 訓令第三十號)	全
畜産		
種牡馬検査法施行手續	(明治三十一年三月廿二日 縣令第十四號)	四
牛馬市場開設地指定	(明治十四年一月十三日 縣令第一號)	四
産馬事業奨勵方	(明治卅二年一月三十一日 告示第一號)	五
水産		
諏訪湖ニ於テ漁業禁止	(明治三十一年四月十二日 縣令第二十二號)	五
天龍川字釜口ニ於テ無許可粗朶等排置漁業禁止	(明治二十年十一月廿八日 達第四百四十二號)	全
農事試験		

長野縣農事試験場規則	(明治三十年六月四日 告示第五百五號)	五
長野縣農事試験場處務規程	(明治三十年六月四日 訓令第七十六號)	五
長野縣農事試験場技術官派遣請求方	(明治三十年十一月廿四日 訓令第五十號)	全
郡農事試験場規程	(明治卅一年十二月三十日 訓令第五百十八號)	五
郡農事巡回教師設置之件	(明治卅一年十二月三十日 訓令第五百十九號)	五
取引所		
取引所税法第四條ノ届書稅務署へ差出方	(明治廿七年四月十二日 縣令第十五號)	五
會社		
株式會社ノ行爲法律命令ニ違反等ノ場合アルトキハ事狀報告方	(明治廿六年六月十日 訓令第一號)	五
銀行		
銀行會社ニ關スル報告及願書正副二通差出方	(明治廿六年六月廿三日 告示第六十八號)	五
銀行ヨリ差出シタル書類へ意見添申方	(明治廿六年五月九日 訓令第六十九號)	全
銀行ニシテ違反ノ行爲アリタルトキ報告方	(明治廿六年五月九日 訓令第七十號)	全
銀行並ニ貯蓄銀行出張所代理店ニ關シテ取扱手續	(明治廿六年十二月五日 訓令第六十三號)	六
銀行事業ヲ營ム會社ヨリ差出ス資本増減ノ認可申請書ニ參考書等添付方	(明治廿七年六月十四日 訓令第六十六號)	全
銀行事業ヲ營ム會社ニシテ登記ヲ受ケタルトキ届出方		

勸業各會	(明治廿七年七月三日)	訓令第百十六號	六〇
農會準則	(明治廿九年九月十五日)	縣令第四十號	六一
共進會品評會等開設認可方	(明治三十年十月廿二日)	縣令第五十一號	六二
農會組織ニ關スル要項	(明治廿九年九月十五日)	訓令第八十二號	六三
町村農會設立並規約變更認可報告方	(明治廿九年九月十五日)	訓令第八十三號	六四
農會設立ニ關シ督勵方	(明治三十一年十二月廿一日)	訓令第百四號	六五
勸業委員及勸業會準則並勸業委員撰奉順序	(明治十七年六月十二日)	無	六六
勸業會開設ニ付主任郡書記出題方	(明治十八年五月廿九日)	乙第百十五號	六七
同業組合	(明治十八年四月廿二日)	甲第百四十號	六八
同業組合準則	(明治十八年四月廿二日)	甲第百四十號	六九
統計報告	(明治廿七年六月十一日)	訓令第百號	七〇
農商工事統計表樣式	(明治廿七年六月十一日)	訓令第百二號	七一
各郡農商工事報告規程	(明治廿七年六月十一日)	訓令第百三號	七二
町村農商工事報告規程	(明治廿七年六月十一日)	訓令第百四號	七三
米麥作及養蠶景況報告樣式	(明治廿七年六月十一日)	訓令第百四號	七四
長野上田松本町ニ於ケル每月立米平均價報告方	(明治廿七年五月八日)	達甲第七十四號	七五
氣象			

氣象觀測所設置認可申請方	(明治廿七年三月廿六日)	縣令第十三號	一四七
各郡役所々在地ニ於テ氣象觀測ヲ爲サシムル件	(明治廿七年三月廿六日)	告示第百九十二號	一四八
氣象調查上ニ於ケル測候所管轄區域	(明治三十年十月十九日)	告示第百九十四號	一四九
天氣豫報暴風警報其他通信出願手續	(明治三十年十月十九日)	告示第百九十五號	一五〇
氣象器械檢定出願方	(明治廿七年三月廿六日)	訓令第百五十六號	一五一
氣象觀測規則	(明治廿七年九月四日)	訓令第百四十八號	一五二
暴風警報取扱規則	(明治廿七年九月四日)	訓令第百四十九號	一五三
暴風警報取扱規則附則	(明治廿七年九月四日)	丙第一三七號	一五四
暴風警報取扱規程	(明治三十年十月十九日)	訓令第百二十五號	一五五
測候所處務規程	(明治三十年十月十九日)	訓令第百二十九號	一五六
天災地變其他報告方	(明治三十年十月十九日)	訓令第百三十號	一五七
天災地變其他報告方	(明治三十年十月十九日)	訓令第百三十號	一五八
度量衡			
度量衡取締規則	(明治三十一年三月十八日)	縣令第十三號	一七二
度量衡器修繕者取締ノ件	(明治三十二年五月廿六日)	縣令第三十七號	一七三
度量衡器製作修復販賣者ノ身元保證金預ケ入銀行指定	(明治三十年七月六日)	告示第百廿九號	一七四
度量衡取締員證票樣式	(明治三十一年三月十八日)	告示第七十三號	一七五

度量衡特設檢定所位置、名稱、所轄區域、開所期日	（明治卅一年十二月廿三日告示第二百九十九號）	一七七
度量衡檢定成績報告方	（明治三十一年一月廿一日 訓令第三號）	一八四
度量衡取締手續	（明治三十一年三月十八日 訓令第廿一號）	一八五
度量衡器製作販賣修葺出願者ヨリ差出ス設計書寫保存方	（明治卅一年五月六日 訓令第四十九號）	一九〇
度量衡特設檢定所處務規程	（明治三十一年一月十七日 訓令第七號）	全
度量衡器需用供給並價格變動ノ狀況報告方	（明治三十二年二月廿八日 訓令第廿二號）	一九六
同上並受檢器物ノ概數、修葺器物ノ種類個數報告方	（明治三十二年二月廿八日 訓令第廿三號）	全
桿秤ノ取緒及錘系ニシテ金屬ニ非ラサルモノ、修葺檢査手續	（明治三十一年三月十八日 達 番 外）	全
度量衡定期檢定受檢人心得	（明治三十一年十二月三十日告示第三百五號）	一九七
度量衡定期檢定ニ際シ郡市長警察官町村長ノ執行スヘキ事項	（明治卅一年十二月卅日 訓令第百五十七號）	一九九

長野縣現行令達類纂目次 地理

土地

官有地貸渡手續	（明治廿四年十月十五日 縣令第四十二號）	一
公有地使用不認可ノ件	（明治廿七年十二月廿七日縣令第百八十一號）	九
道路堤塘地種組替方	（明治廿三年十二月二日 訓令第百七十一號）	全
官有社寺境内使用許可方	（明治廿四年六月四日 訓令第七十九號）	全
借地ノ出願ニ對スル取調事項	（明治廿四年十月十六日 訓令第百卅三號）	〇
社寺境内區域變更	（明治廿四年十二月十四日訓令第百五十五號）	全
官有里道用水路幅員取擴起工出願ノ際取調事項	（明治廿六年十二月八日訓令第百六十五號）	全
土地分筆方	（明治廿七年一月十五日 訓令第二號）	一
官有地々籍異動申報方	（明治廿八年三月十一日 訓令第廿四號）	全
荒地年期明川成湖水成土地上申方	（明治廿八年十月二日 訓令第九十一號）	三
官有地ニ關スル地種目組替貸下使用拂下其他出願ニ際シ圖面添付方	（明治廿九年一月廿二日 訓令第八號）	四
町村内一部一區ノ名義ヲ以テ官有地ニ關係アル事件出願手續	（明治三十年一月廿一日 訓令第五號）	全
官有地拂下出願ニ對スル町村長取調事項	（明治三十一年十一月七日 達甲第十八號）	一
官有地ヲ道路河川堤塘等ニ供スル出願手續	（明治廿四年七月八日 達甲第百十七號）	五

登記

道路堤塘河川等ニ供スル潰地ノ登記取調方……………(明治廿四年八月廿八日 訓令第百十三號) 一七
官有地ノ賣買等ニ對スル登記請求手續……………(明治三十年五月十四日 訓令第六十九號) 全

森林

民有山林國土保安ノ爲メ伐木停止及風致林ニ編入ノ件……………(明治三十年十二月卅一日 縣令第六十號) 二一
從來禁伐林及風致林ノ取扱ヲ受ケタル國有林御料林ノケ所告示ノ件……………(明治三十年十二月卅一日 告示第百七十七號) 四〇
森林開墾許可願ニ對スル取調方……………(明治三十一年二月八日 訓令第九號) 六七
山林在來ノ材料ヲ愛惜シ將來繁殖ノ道ニ注意方(明治十四年二月十七日 乙第十七號) 全
林野火入及焚火取締規則……………(明治卅二年四月十八日 縣令第廿五號) 六八
民有山林取締規則……………(明治卅二年四月十八日 縣令第廿六號) 七〇
市町村ニ森林常設委員ヲ置キ森林ニ關スル事務ヲ取扱ハシム及職務章程……………(明治卅二年四月十八日 訓令第六十號) 七一
森林常設委員ヨリ報告及意見書ヲ提出シタルキノ取扱方……………(明治卅二年四月十八日 訓令第六十一號) 七三
森林常設委員ヲ置キタルキハ報告スベキ件……………(明治三十二年四月十八日 訓令第六十二號) 全
森林保護ノ告諭……………(明治三十二年四月十八日 告諭第四號) 七四

森林法施行規程……………(明治三十二年五月二日 縣令第三十一號) 七六
森林法ニ關スル取扱手續……………(明治三十二年五月二日 訓令第七十五號) 九九

鑛業

鑛業出願ニ對スル取調事項……………(明治廿九年九月十七日 訓令第百五十六號) 一〇一
砂鑛出願ニ對スル取調事項……………(明治廿九年九月十七日 訓令第百五十七號) 全
鑛業砂鑛採取出願ニ關スル取調事項……………(明治三十二年五月十九日 訓令第八十七號) 一〇二
鑛石及砂鑛製煉ニ關スル取扱方……………(明治三十二年五月十九日 訓令第八十八號) 全

雜

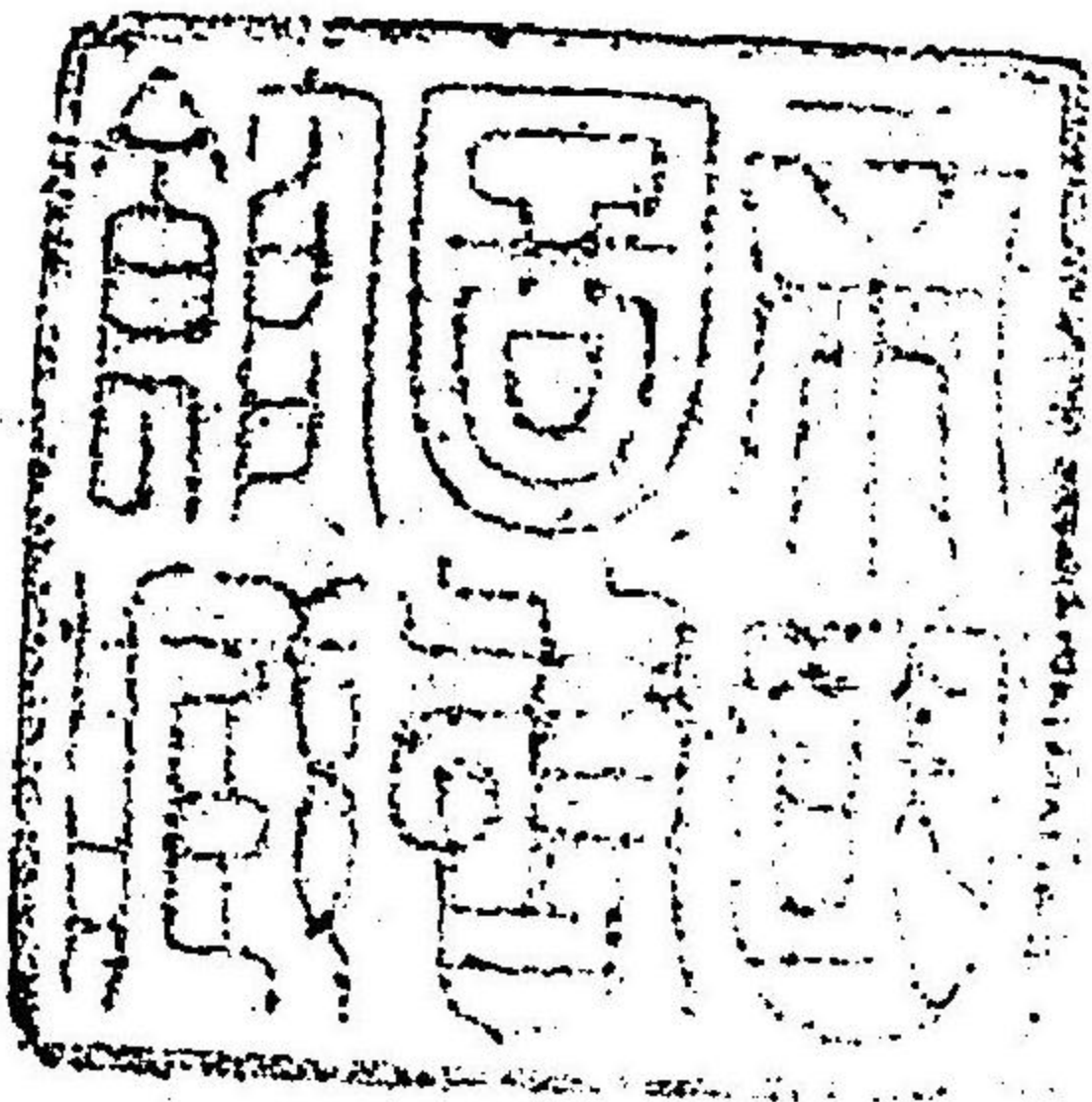
開墾及牧畜事業ノ爲メ國有原野ノ豫約賣渡願差出方……………(明治三十二年五月十二日 告示第百三十八號) 一〇四

特17
99

長野縣現行令達類纂

◎縣費

○長野縣訓令第四十號



長野縣會計規則別冊ノ通相定
明治三十二年三月廿九日
長野縣會計規則

縣費

長野縣知事

園山勇	縣金庫	蠶種檢査所	測候所	縣立農事試驗場	縣立病院	縣立學校	警察分署	監獄支署	警察署	郡役所	監獄署	警察部	內務部
-----	-----	-------	-----	---------	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----

明治三十二年五月廿九號
第八十九號
追加

第一章 總則

第一條 縣稅備荒儲蓄金其他縣ノ經濟ニ屬スル歳入歳出ノ會計ハ總テ此規則ニ據ル

但法律命令其他特別ノ規程アルモノハ此限リニアラス

第二條 此規則ニ於テ各府ト稱スルハ監獄署、郡役所、警察署、監獄支署、縣立學校、縣立病院、農事試驗場、測候所、蠶種檢査所ヲ云フ

第三條 此規則ニ於テ出納吏ト稱スルハ本廳ニ在ツテハ內務部第五課長各府ニ在ツテハ其府長ヲ云フ

但蠶種檢査所ニ在テハ郡長ヲ以テ其府長ニ充ツ

第四條 歳入歳出ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

但備荒儲蓄金ノ歳入歳出ハ現ニ出納ヲ爲シタル日ノ屬スル年度ヲ以テ區分スヘシ

歳入

- 一 納期ノ一定シタル收入ハ其納期末日ノ屬スル年度
 - 二 隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發スルモノハ其發シタル日ノ屬スル年度
 - 三 隨時ノ收入ニシテ納額告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度
 - 四 小學校教員恩給基金ハ納付ノ義務生シタル日ノ屬スル年度
- 歳出
- 一 縣債ノ元利恩給年金扶助料ノ類ハ仕拂期日ノ屬スル年度但始メテ支給スル恩給年金扶助料等ニシテ仕拂期日ヲ經過シタルモノハ証書發付ノ日ヲ以テ區分スヘシ
 - 二 諸拂戻款損補填及行旅病人諸費ノ類ハ其支出ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

三 補助費ハ其補助ノ達ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

但シ持ニ年度ヲ指定シタルモノハ此限リニアラス

四 俸給給料手當一時給助金死亡賜金旅費賄費手数料借入料ノ類ハ其支出スヘキ事實ノ生シタル日ノ屬スル年度

五 官報新聞紙雜誌代ノ類ニシテ引續キ購入スルモノハ發刊ノ日ノ屬スル年度

六 物品ノ購入代價(前項ヲ除ク)印刷費運搬費寫字料廣告料及土木建築費ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但年度開始前準備ノ爲メ契約ヲ爲サルヲ得サルモノニシテ特ニ知事ノ許可ヲ得タルモノ及土木建築費ノ如キ數年ニ渉ルコトヲ得ヘキモノハ契約ニ依リ定メタル仕拂期日ヲ以テ區分スヘシ

七 前各號ニ掲グル類別ニ入ラサル費用ハ總テ支出命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度

第五條 縣稅其他縣一切ノ收入ヲ歳入トシ縣一切ノ支出ヲ歳出トシ歳入歳出ハ總テ豫算ニ編入スヘシ

第六條 歳入歳出ノ種目ハ法律命令及縣會ノ決議ニ依ル

第七條 各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ハ其年度ノ歳入ヲ以テ支辨スヘシ

各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

第八條 各年度ノ歲計剰余金ハ其翌年度ノ歳入ニ繰入ルヘシ

第九條 特別ノ用途ヲ定メタル歳入ハ之ヲ他ノ用途ニ使用スルコトヲ得ス

第十條 一年度内ニ竣ルヘキ見込ノ事業ニシテ避クヘカラサル事故ノ爲メ竣成ニ至ラズ年度内ニ其經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ縣會ノ議決ヲ經ルニアラサレハ之ヲ翌年度ニ繰越使用スルコト

ヲ得ス

第十一條 一會計年度ニ屬スル現金ノ出納ハ各廩ニ於テハ翌年度四月三十日縣廳ニ於テハ五月二十日ヲ以テ閉鎖シ其會計事務ハ各廩ニ於テハ五月十日縣廳ニ於テハ六月十日迄ニ完結スヘシ但知事ニ於テ特ニ出納ヲ命シタル場合ハ此限リニアラス

第十二條 縣稅備荒儲蓄金其他縣ノ經濟ニ屬スル現金ノ保管出納ハ縣金庫ヲシテ之ヲ取扱ハシ

第二章 豫算

第十三條 內務部長警察部長監獄署長ハ各其主管ニ屬スル各年度歳入歳出ノ概算書ヲ調製シ之ヲ知事ニ差出スヘシ

知事ハ前項ノ概算書ヲ査定シ其翌年度ノ歳入歳出ノ豫算ヲ調製スルモノトス

第十四條 歳入歳出ノ豫算ハ款項ニ區分調製シ前年度ノ豫算ニ對シ増減ノ事由ヲ説明シ且内譯明細ヲ掲ケ歳入ノ性質經費ノ目的ヲ明示スヘシ

第十五條 各年度歳入歳出豫算ノ確定シタルトキハ之ヲ各主管ノ部署長ニ令達スヘシ歳出豫算ノ内各廩ノ經費ハ前項確定額ニ基キ其所要ヲ定メ之ヲ各廩長ニ令達スヘシ

但定額ヲ達セサル臨時所要ノ費額又ハ各廩ニ於テ仕拂ヲ便宜トスル費額モ本文ノ手續ヲナスヘシ

第十六條 各廩長ハ經費豫算ノ令達ヲ受ケタル後其増額ヲ請求スルコトヲ得ス但臨時止ムヲ得サル場合ハ此限リニアラス

第十七條 前條但書ニ依リ豫算ノ増額ヲ請求セントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル計算書ヲ製シ

知事ニ稟請スヘシ

但事實已ムヲ得サル場合ノ外本案ノ請求ヲ爲スハ當該年度二月末日限リトス

第十八條 部署長及各廩長ハ歳出豫算各款内項目ノ金額ヲ流用セントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル計算書ヲ製シ知事ニ稟請スヘシ但節ハ流用ノ後報告スヘシ

第十九條 豫算外ニ生シタル事件ノ費途若クハ豫算ノ臨時不足ノ場合ニ要スル費用ニシテ豫備費ノ支出ヲ要スルトキハ其所要ノ理由ヲ詳具シ知事ノ決裁ヲ請フヘシ

第二十條 増額ノ令達又ハ項目ノ流用許可ヲ得サル以前ニ於テ豫算超過ノ支出若クハ豫算外ニ係ル契約ヲ爲スコトヲ得ス

第三章 歳入

第二十一條 歳入ハ法律命令ノ規程ニ依リ之ヲ徵收スヘシ法律命令又ハ此規則ニ定ムル當該吏員ノ資格アル者ニアラサルハ縣稅其他ノ歳入ヲ收納スルコトヲ得ス

第二十二條 歳入ハ知事若クハ特ニ知事ノ委任ヲ受ケタル吏員ノ命令ニ依リ出納吏之ヲ收納スルモノトス

第二十三條 歳入ヲ徵收セントスルトキハ納人ヲシテ現金ヲ縣國庫ニ拂込ミ出納吏ニ納付セシムヘシ

出納吏ハ別ニ定ムル所ノ規程ニ依リ現金ヲ收入シタルトキハ即日之ヲ縣金庫ニ拂込ムヘシ

第二十四條 出納吏縣稅及其他ノ收入金ヲ領收シタルトキハ其領收証書ヲ納人ニ交付スヘシ

第二十五條 既納ニ係ル歳入金ノ所屬年度科目ノ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其時々訂正ヲ爲スヘシ但縣金庫ニ關スル訂正ハ出納吏ヨリ其旨縣金庫ニ通知スヘシ

第二十六條 歳入ノ過誤納金ハ其收入ノ科目ヨリ拂戻スヘシ但其年度ノ出納期限ヲ過キ拂戻ヲ要スルモノアルトキハ之ヲ現年度ノ歳出トスヘシ

第二十七條 過誤納金ノ拂戻ヲ要スルモノアルトキハ其金額收入年度科目及拂戻ヲ要スル事由ヲ詳具シ知事ニ稟請スヘシ
前項拂戻ノ稟請ヲ認定シタルトキハ歳出金仕拂ノ例ニ準シ取扱フヘシ

第四章 歳出

第二十八條 歳出ハ知事ノ命令ニ依リ出納吏之ヲ仕拂フモノトス

歳出ハ豫算ニ定メタル目的外ノ經費ニ對シテハ之ヲ仕拂フコトヲ得ス

第二十九條 支出命令ハ縣ニ對シ正當ナル債主若クハ其代理人ノ爲メニスルニアラサレハ之ヲ發スルコトヲ得ス

左ニ掲グル經費及各廢ニ於テ仕拂フ便宜トスル經費ハ常時又ハ臨時ニ其廢長ニ委任シテ仕拂ヲ執行セシムルコトアルヘシ

- 一 各廢ノ經費
- 二 臨時ニ設置シタル事務所ノ經費
- 三 廳舎建築及修繕費
- 四 縣稅徵收費
- 五 備荒儲蓄金

第三十條 支出命令ハ之ヲ發スル前其經費ハ正當ニシテ必要ナルヤヲ調査シ該經費ノ金額ヲ算定シ又該經費ハ仕拂豫算ニ超過シ若クハ豫算ノ目的ニ違フコトナキヤ所屬年度支出科目及計算ノ

誤ルコトナキヤヲ調査スヘシ

第三十一條 出納吏前條ノ命令ヲ受ケタルトキハ仕拂豫算ニ超過スルコトナキヤ又豫備費支出及費目流用ノ規定ニ違フコトナキヤヲ調査シ其正當ナルヲ認メタル後仕拂切符ヲ調製シ之ヲ受取人ニ交付シ領收証書ヲ徵スヘシ

第三十二條 支出命令及仕拂切符ニハ債主若クハ其代理人又ハ概算拂ヲ受クヘキ吏員ノ氏名仕拂フヘキ金額支出年度科目番號及發付ノ年月日ヲ記載スヘシ但支出科目ノ同一ニシテ數人ノ債主ニ對シ仕拂ヲ爲ストキハ集合支出命令集合仕拂切符ヲ發スルコトヲ得此場合ニハ別ニ各債主ノ金額氏名表ヲ添付スルモノトス

第三十三條 仕拂切符ハ款毎ニ之ヲ發スヘシ

第三十四條 集合仕拂切符又ハ各地ヘ送金ヲ要スル仕拂切符ハ之ヲ縣金庫ニ交付シ縣金庫ヲシテ受取人ニ仕拂ノ手續ヲ爲サシメ同時ニ仕拂通知書ヲ各受取人ニ送付スヘシ但官廳ヘ送金セシムル場合又ハ電信爲替ヲ以テ送金セシムル場合ハ本條ノ通知書ヲ送付セス受取人ヨリ適宜ノ領收証書ヲ徵スルコトヲ得

第三十五條 出納吏ハ仕拂切符ヲ受取人ニ交付スルトキハ案内仕拂切符ニ其仕拂切符交付ノ年月日ヲ記入シ即時之ヲ縣金庫ニ送付スヘシ

集合仕拂切符送金仕拂切符ヲ縣金庫ニ交付スルトキハ縣金庫ノ領收証書ヲ徵シ置キ追テ正當受取人ノ領收証書ト交換スヘシ但縣金庫ノ領收証書ハ帳簿ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ

第三十六條 既ニ發シタル支出命令若クハ仕拂切符ニ所屬年度科目債主氏名等ノ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其時々訂正ヲ爲スヘシ但縣金庫ニ關スル訂正ハ出納吏ヨリ其旨縣金庫ニ通知

第三十七條 仕拂切符ハ第十一條出納閉鎖期限迄ハ現金仕拂ノ請求アル毎ニ縣金庫ニ於テ仕拂フ

前項期限ヲ過キタル仕拂切符ハ其年度ノ歳出ヲ以テ仕拂フコトヲ得ス但仕拂期限ヲ過キタル案

第三十八條 左ニ掲クル經費ニ限リ當該吏員ニ概算拂ヲ爲スコトヲ得

- 一 縣金庫設置ナキ地ニ於テ仕拂ヲ要スル經費
- 二 旅費測量費及習學旅行費
- 三 機 密 費
- 四 囚人移轉費

官廳ヨリ買入又ハ借入物件ニ對シ其官廳ヘ仕拂ヲ爲ス經費ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 左ニ掲クル費用ニ限リ繰替拂ヲ爲スコトヲ得

- 一 瘋癲人及囚人押送費
- 二 拘留人及換刑禁錮囚諸費

第四十條 警察分署ニハ緊急支出ヲ要シ規定ノ手續ヲ經ル暇ナキ場合ニ充ツル爲メ特ニ二十五圓以

第四十一條 誤拂過渡概算拂ノ返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入ヲ要スルモノアルトキハ返納人ニ

對シ返納告知書ヲ發シ定額ニ戻入ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十二條 各年度ノ歳出ニシテ其年度ノ出納期限ヲ過キテ仕拂ヲ要スルモノアルトキハ支出年

度ノ歳出トスヘシ

第四十三條 豫算決定後年度開始前ニ於テ止ムヲ得サル事實ニ依リ契約ノ締結ヲ要スルモノアル

トキハ其事由ヲ詳具シ知事ニ稟請スヘシ

第四十四條 缺損補填及過年度支出ヲ要スルモノアルトキハ其事由ヲ詳記シタル要求書ヲ調製シ

知事ニ稟請スヘシ但過年度支出要求書ニハ其經費所屬年度ノ定額中各項目ノ不用トナリタル金

額ヲ掲クヘシ

第四十五條 出納吏ハ帳簿ノ結果ニ依リ毎月收入及支出ノ計算書ヲ調製シ証憑書類ヲ添ヘ縣廳取

扱ニ係ルモノハ翌月十日各縣ハ翌月五日迄ニ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第四十六條 概算渡ヲ受ケタル吏員ハ仕拂精算書ヲ作り証憑書類ヲ添ヘ其仕拂了シタル日ヨリ

但數月ニ涉ルモノハ翌月五日限リ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十七條 各縣出納吏ハ各年度ニ屬スル調定額計算書及收入支出ノ決算書ヲ調製シ翌年度五月

第四十八條 前條ノ計算書提出後ニ於テ所屬年度科目等ノ誤謬ヲ發見シ又ハ異動ヲ生シタルモノ

アルトキハ之レカ更訂報告書若クハ追加計算書ヲ調製シ知事ニ提出スヘシ

第四十九條 本廳出納吏ハ各年度ニ属スル歳入歳出ノ決算報告書ヲ調製シ翌年度六月三十日迄ニ之ヲ知事ニ提出スヘシ

第五十條 歳入歳出ノ決算ハ豫算ト同一ノ区分ニ依リ調製シ收入支出ノ成蹟ヲ明カニスヘシ

第六章 工事及物件ノ賣買貸借

第五十一條 物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得

- 一 一人又ハ一會社ニテ専有スル物件ヲ買入又ハ借入ルルトキ
- 二 非常急劇ノ際競争ニ付スル暇ナキトキ
- 三 特種ノ物品ヲ其生産者製造者ヨリ直接買入ヲ要シ又ハ特別ノ技術家ニ命スルニアラサレハ製造シ得ヘカラサル製造品及器械ヲ買入ルルトキ
- 四 土地建物ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其位置構造等ニ限リアルトキ
- 五 囚徒ヲ備役シ又ハ囚徒ノ製造物品ヲ直接ニ買入ルルトキ
- 六 官立公立ノ學校又ハ農工業場ヨリ其生産及製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ
- 七 直接公用ニ供スル爲メ又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ノ爲メ若クハ非常ノ災害ニ罹リタル人民ノ爲メ物件ヲ貸渡シ又ハ賣渡ストキ
- 八 慈惠ノ爲メ設立スル救育所ノ貧民ヲ備役シ又ハ其製造物品ヲ直接ニ買入ル、トキ
- 九 縣ノ設立シタル農工業場又ハ慈惠教育ニ係ル各所ノ生産及製造物件ヲ賣拂フトキ
- 十 囚徒ノ製造物品ヲ賣拂フトキ
- 十一 貸渡シタル土地内ニ在ル生産物ヲ其借受入ニ賣拂フトキ

十二 一口百圓未満ノ物件ノ買入借入ノ契約ヲ爲ストキ

十三 額面貳千圓以内ノ公債証書又ハ見積價格五拾圓ヲ超ヘサル物件ヲ賣拂フトキ

十四 競争ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ第五十九條ニ依リ再入札ニ付スルモ尙豫定價格ニ達セサルカ若クハ豫定價格ニ超過シタルトキ

但最初競争ニ付スルトキ定メタル價格及其他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得ス

第五十二條 競争ハ總テ入札ノ方法ヲ以テシ其入札期日ヨリ少クモ五日以前ニ揭示又ハ新聞紙其他ノ方法ヲ以テ成ルヘシ廣ク公告スヘシ

第五十三條 前條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ

一 競争入札ニ付スル事項

二 入札心得書仕樣書圖面見本契約書案ヲ示ス場所及契約ヲ締結スル吏員ノ官職氏名

三 競争執行ノ場所日限及時刻

四 入札ノ保証金額

第五十四條 物件ノ賣買競争ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスルモノニハ現金又ハ公債証書ヲ以テ保証金ヲ納メシメ尙ホ必要ト認ムル場合ニ於テハ保証人ヲ立テシムルコトアルヘシ

現金ハ縣金庫預リ証ヲ以テ納メシメ記名公債証書ハ賣渡委任狀ヲ添ヘテ之ヲ納メシムヘシ

第五十五條 競争ヲ爲サンメ若クハ契約ヲ結ハントスル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ本人及保証人ノ資格ヲ制限スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ公告ニ其資格ヲ示スヘシ

第五十六條 第五十四條ノ保証金ハ左ノ制限ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

一 競争ニ加ハラントスルモノニハ其事項ノ見積價格百分ノ五以上

二 契約ヲ結ハントスルモノニハ其事項ノ代價百分ノ十以上

第五十七條 物件ノ賣買貸借ヲ競争入札ニ付スルトキハ其價格ヲ豫定シ之ヲ封書トシ開札ノトキ其場所ニ置クヘシ

第五十八條 開札ハ公告ニ示シタル場所日限時刻ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ入札人又ハ其代理人若シ開札ノ場所ニ出席セザルトキハ其入札ハ無効トス

第五十九條 開札ノ上各入札中一モ第五十七條ノ豫定價格ニ達セザルトキハ更ニ公告シテ競争ヲ行フヘシ但時宜ニ依リ直ニ入札者ヲシテ再入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十條 落札トナルヘキ同價ノ入札者二名以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムヘシ

第六十一條 競争ノ落札者契約ヲ結ハサルトキハ更ニ競争ヲ行フヘシ

前項ノ落札者開札ノ場所ニ於テ直ニ契約ヲ結ハサルノ申立ヲ爲シタルトキハ順次次札ヲ以テ落札人ヲ定ムルコトヲ得但豫定價格ニ達セザルカ若シハ豫定價格ニ超過シタル入札ハ此限リニアラス

第六十二條 競争落札者契約ヲ結ハサルトキハ其保証金ハ縣ノ所得トス

第六十三條 契約書ニハ其契約セントスル事項ノ細密ナル仕譯受渡期限保証金額契約違背ノトキ保証金ノ處分其他必要ナル條件ヲ掲クヘシ但一口百圓未滿ノ隨意契約ノ場合ニ於テハ本文ノ契約書ヲ省略スルコトヲ得

第六十四條 契約ニ依リ物品ノ概納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスルトキハ特ニ命シタル検査官吏ヲシテ事實ヲ調査シ其調査ヲ作ラシムヘシ

前項ノ調査ニ依ルニアラサレハ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第六十五條 前條ノ仕拂ヲ爲サントスルトキハ物品ノ既納トナリタル部分ニ對スル代價ノ五分ノ四ヲ超ユヘカラス

第六十六條 工事ノ請負若クハ工事ニ要スル物件ノ賣買貸借ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 出納吏

第六十七條 出納吏ハ其管理スル事務ニ關シ一切ノ責ヲ負フモノトス

出納吏ハ其取扱ニ屬スル出納ニ關シ自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ其責任ヲ免ル、コトヲ得ス但知事ニ於テ特ニ其代理者ヲ命シタルトキハ其代理者ノ所爲ニ就テハ此限リニアラス

第六十八條 知事ノ命シタル出納吏ノ代理者ハ其代理者ニ就キ責任ヲ免ル、コトヲ得ス

第六十九條 出納吏交替ノトキハ前任者ニ於テ三日以内ニ收支計算書ヲ調製シ之ニ其帳簿及証憑書類ノ目錄ヲ添ヘ後任者ニ事務ヲ引繼ヲ爲スヘシ但現金ヲ取扱フ出納吏ナルトキハ検査員ヲ命シテ帳簿金櫃ヲ検査セシムルコトアルヘシ

第七十條 出納吏死亡其他ノ事故ニ依リ自身ニ計算ヲ調製シ事務引繼ヲ爲ス能ハサル場合ニ於テハ知事特ニ其代理者ヲ命シテ事務ヲ引繼ヲ爲サシムヘシ

第七十一條 前條事務ヲ引繼ヲ了シタルトキハ其帳簿表紙ノ裏面ニ引繼年月日ヲ記載シ前任者後任者記名捺印シ第四十五條ノ收支計算書及引繼目錄ノ原本ヲ添ヘ後任者ヨリ知事ニ届出ヘシ

第八章 縣金庫

第七十二條 縣金庫ノ事務ハ確實ナル銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第七十三條 縣金庫ヲ分テ本金庫支金庫ノ二種トス

縣廳下ニ本金庫ヲ置キ各郡役所々在地其他必要ノ地ニ支金庫ヲ置ク

第七十四條 本金庫ハ支金庫ヲ總轄ス

第七十五條 縣金庫ノ位置名稱區域ハ別ニ之ヲ定ム

第七十六條 知事ハ隨時検査官吏ヲ派遣シテ現金及諸帳簿ヲ検査セシムルコトアルヘシ

第七十七條 縣金庫ノ事務取扱ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第九章 帳簿

第七十八條 縣廳ハ日記簿原簿現金出納簿歳入簿歳出簿備荒儲蓄金出納簿及補助簿ヲ備ヘ縣會計ニ屬スル一切ノ出納ヲ登記スヘシ

第七十九條 各廨ハ收入簿支出簿及補助簿ヲ備ヘ主管ニ屬スル一切ノ出納ヲ登記スヘシ

第十章 雜則

第八十條 本規則施行ニ關シ必要ナル細則及帳簿其他ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

附則

第八十一條 本規則ハ明治三十二年度所屬ノ會計ヨリ施行ス

第八十二條 本規則ニ抵觸スル從前ノ令達ハ本規則施行ノ日ヨリ廢止ス

○長野縣訓令第五十號

內務部
警察部
監獄部
郡役所
警察署

明治三十二年三月三十一日
訓令第四十號長野縣會計規則ニ關スル帳簿其他ノ様式別紙之通相定ム

長野縣知事 園山 勇

會計規則書式目錄

第一號 歳入歳出概算書 (會計規則第十三條)

第二號 増額請求計算書 (同 第十七條)

第三號 流用計算書 (同 第十八條)

第四號 現金拂込書 (同第廿三條第二項)

第五號 領收證書 (同 第廿四條)

第六號 過誤納金拂戻要求書 (同 第廿七條)

第七號 仕拂切符 (同 第卅一條)

第八號 集合仕拂切符 (同 第卅二條但書)

監獄支署
警察分署
縣立學校
縣立病院
縣立農事試驗場
測候所
蠶種検査所
縣金庫

第九號	金額氏名表	(同 第卅二條但書)
第十號	送金仕拂切符	(同 第卅四條)
第十一號	仕拂通知書	(同 第四十一條)
第十二號	返納告知書	(同 第四十四條)
第十三號	過年度支出要求書	(同 第四十五條)
第十四號	收入計算書	(同 第四十六條)
第十五號	支出計算書	(同 第四十七條)
第十六號	仕拂精算書	(同 第四十七條)
第十七號	調定額計算書	(同 第四十七條)
第十八號	收入決算書	(同 第六十九條)
第十九號	支出決算書	(同 第七十八條)
第二十號	收入事務引繼計算書	(同 第七十九條)
第二十一號	支出事務引繼計算書	(同 第七十九條)
第二十二號	日記簿	(同 第七十九條)
第二十三號	原簿	(同 第七十九條)
第二十四號	現金出納簿	(同 第七十九條)
第二十五號	歲入簿	(同 第七十九條)
第二十六號	歲出簿	(同 第七十九條)
第二十七號	備荒儲蓄金出納簿	(同 第七十九條)

第廿八號	收入簿	(同 第七十九條)
第廿九號	支出簿	(同 第七十九條)
第三十號	補助簿	(同 第七十九條)
一	縣歲入內譯簿	(同 第七十九條)
二	縣歲出內譯簿	(同 第七十九條)
三	備荒儲蓄金內譯簿	(同 第七十九條)
四	勸業儲蓄金內譯簿	(同 第七十九條)
五	小學校教員恩給基金內譯簿	(同 第七十九條)
六	小學校教員恩給基金內譯簿	(同 第七十九條)
七	慈惠救濟資金內譯簿	(同 第七十九條)
八	概算渡金整理簿	(同 第七十九條)
九	貸下及預金明細簿	(同 第七十九條)
十	縣有證券明細簿	(同 第七十九條)
十一	備考儲蓄金地租賃與人別簿	(同 第七十九條)
十二	第一號ノ甲 用紙半紙野紙	(同 第七十九條)
十三	明治何年度何々(款)歲入概算書	(同 第七十九條)
十四	經常(臨時)部	(同 第七十九條)

科 目	本年 高度	前 年 高度	前々 年 高度	前 年 度 豫 算 ニ 比 シ 増 減	前々 年 度 決 算 ニ 比 シ 増 減	款 何 々
<p>本款前年度豫算ニ比シ増(減)ノ理由ハ何々ニ由ル (本款全部ニ對スル重ナル増減ノ理由ヲ説明スヘシ以下各款ニ於テ説明スルモノ皆全シ) 前々年度決算ニ比シ増(減)ノ理由ハ何々ニ由ル</p>						
項 何 々						
目 何 々						
節 何 々						
<p>何々 内 譯 何 圖</p> <p>此明細左ノ如シ(又ハ別紙第何號明細表ノ通) (不用品賣拂代ノ例)</p>						

品 目	數 量	單 價		金 額	備 考	何 々
		本 年 度	前 年 度			
<p>何々 同 上 何 圖</p> <p>本節前年度豫算ニ比シ増(減)ノ理由ハ何々ニ由ル 前々年度決算ニ比シ増(減)ノ理由ハ何々ニ由ル (節ナキ科目ニ在テハ目ニ於テ内譯及増減ノ理由ヲ説明スヘシ) 備考：此概算書ハ每款別紙ニ認メ每部別冊トナスヘシ 第一號ノ乙 用紙半紙算紙 明治何年度何々(款)歳出概算書 經常(臨時)部</p>						
科 目	概 算	豫 算	決 算	前 年 度 豫 算 ニ 比 シ 増 減	前々 年 度 決 算 ニ 比 シ 増 減	款 何 々

計

第二號 用紙半紙界紙

明治何年度何々(款)増額請求計算書

科目	現豫算額	仕拂濟額	同見込額	差引不足	事由
何々(項)					事由ハ細密ニ記載スヘシ此區 事内ニ記載シ得サルモノハ合 計ノ次ニ式ノ如ク詳記スヘシ
何々(目)					
何々(節)					
合計					
何々(項)					

何々(項) 何々(目)不足ノ理由ハ何々ニ依リ云々
右増額御許可相成度候也

明治何年何月何日

知事宛

何府長官職氏 名 附

第三號 用紙半紙野紙

明治何年度何々(款)流用計算書

科目	現豫算		仕拂濟		見込高		豫算流用高		差引殘	事由
	算	額	仕	拂	見	込	高	増		
何々(項)										事由ハ細密ニ記載スヘシ
何々(目)										
何々(節)										
何々(項)										
何々(目)										
合計										

増減事由説明

何々(項) 何々(目)ノ増加ヲ要スルハ既ニ「金何程追加」「金何程流用」「金何程豫備費支出」計金何程許可アリシカ尙何々(事由ヲ詳記ス)ニ依ル

何々(項) 何々(目)ノ減少アルハ何々(事由ヲ詳記ス)ニ依ル

右流用御承認相成度此段具申候也

縣費

廿三

廿二

明治何年何月何日

知事宛

何部署厚長官職氏

名 印

第四號 用紙西洋紙輪廓寸法曲尺縱四寸五分ノモノ二枚
横三寸三分

第何號

明治何年度 何々(款)

一金何程 ○取扱主任印

右拂込候也

明治何年何月何日

長野縣廳(何麻)出納吏官職氏

名 印

長野縣本金庫(又ハ何地支金庫)

縣金庫印

第何號

長野縣廳(何麻)出納吏官職氏

名

明治何年度 何々(款)

現 金 拂 込 書 保

管 証 書

一金何程 ○縣金庫主任印

右正ニ保管候也

明治何年何月何日

長野縣本金庫(又ハ何地支金庫)

印

第五號 用紙適宜輪廓寸法曲尺縱四寸五分ノモノ二枚
横三寸三分

第何號

納人

一金何程

摘何々

符

明治何年何月何日

縣費

出納
吏印

領收証書

第何號
一金何程
但何々
右正ニ領收候也
明治何年何月何日
何 某 殿
長野縣廳(何解)出納吏官職 氏 名 印

備考 一縣稅ハ別ニ定ムル所ノ様式ニ據ル

二生徒授業料ノ領收証書ハ適宜調製スルモ妨ケナシ

第六號書式

用紙半紙野紙

何年度歲入過誤納金拂戻要求書

一金

何々(款)

何 麻

内譯

金

納 人

何町村長
(又ハ)何町村

何 某

但何年何月何日納入何々(項)「何稅何等」何々(前)何々(後)何々(分)金何程何某分(町村)ノ收納ニ係ル分ハ納
人ノ氏名ヲ記ス「何々(目)何代金何程」ハ何々(更正)ノ事由ニ依リ金何程收納ス(キモノ
ニ付差引本項金額還付ヲ要ス

金

全

上

但何々

一金

何々(款)

但何々

納 人 何町村 何 某

右拂戻相成度候也

明治何年何月何日

何麻長官職 氏 名 印

知 事 宛

縣費

吏出
印納

仕 拂 切 符

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)

何々(款)

金(參百圓也)



何某又ハ代理何某渡

本行ノ金額此仕拂切符持參人ニ仕拂可有之候也

長野縣廳又ハ何麻出納吏官職氏名印

明治何年何月何日

長野縣本金庫(又ハ何地支金庫)

円
300,000

廿九

案 內 仕 拂 切 符

吏出
印納

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)

何々(款)

金(參百圓)

何某又ハ代理何某渡

此仕拂切符本日發行ス

長野縣廳又ハ何麻出納吏官職氏名印

明治何年何月何日

長野縣本金庫(又ハ何地支金庫)

廿八

縣費

集 合 仕 拂 切 符

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)
何々(款)

金何百圓也 印主任

何某外何人渡

本行ノ金額此切符付屬ノ金額氏名表ニ照シ仕拂可有之候也

長野縣廳(何廳)出納吏官職氏名 印
明治何年何月何日

長野縣本金庫(何地支金庫) 000,000

(金何圓何錢)

{	金何圓				
{	金何圓何錢	現金支給高			
{	金何錢	國庫納金引去高			

州一

原 符

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)
何々(款)

金(參百圓)

何某又ハ代理何某渡

明治何年何月何日

長野縣本金庫(又ハ何地支金庫)

(金何圓何錢)

{	内金何圓何錢				
{	金何錢	現金支給高			
{		國庫納金引去高			

(第七號) 用紙堅牢ナル西洋紙輪廓寸法曲尺縦
三寸五分ナリ
一郡書記ノ仕拂切符ハ三枚綴裏面
備考 郡書記ノ仕拂切符ハ三枚綴裏面
内ノ如ク記載スヘシ但再記ノ金額ニハ
内譯ヲ要セス

三十

符 原

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)

何々(款)

金 何 百 圓 也

何某外何人渡

明治何年何月何日

長野縣本金庫(何地支金庫)

(第八號)

備考

用紙堅半ナル西洋紙輪廓寸法曲尺縦三寸五分横四寸ノモノ二枚接續
一郡書記俸給ノ任拂切符金額ノ欄ニ裏書
ノ如ク記載スヘシ
但再記ノ金額ハ内譯ヲ要セス

第九號 用紙半紙野紙

集合仕拂切符第何號金額氏名表

明治何年度歳出(何々)

何々(款)

一金

内

金 金

何某外何人渡

第 號

何

某

第 號

何

某

明治何年何月何日

長野縣廳又何解出納吏官職 氏名 印

備考

一 所在地外ニアル債主ニ送金ヲ要スル場合ニハ各債主氏名ノ右側ニ各送金先場所ヲ記載スルモノトス

二 郡書記俸給支拂ノトキハ金額ヲ左記ノ通り記載スヘシ

一金何圓

内 金何圓何錢

金何 錢

現金支給高

國庫納金引去高

縣 費

卅三

卅二

縣費

卅五

原符

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)

何々(款)

金何百圓

何府縣何郡市何町村何番地何某渡

明治何年何月何日

長野縣金本庫(何地支金庫)

(第十號)

備考

用紙堅牢ナル西洋紙輪廓寸法曲尺縦三寸五分横四寸ノモノ二枚接續
一郡書記俸給ノ仕拂切符ハ金額ノ欄ニ裏書
ノ如ク記載スヘシ
但再記ノ金額ハ内譯ヲ要セス

送金仕拂切符

第何號 明治何年度歳出(歳入下戻)

何々(款)

金何百圓

印主在

出納
吏印

何府縣何郡市何町村何番地何某渡

本行ノ金額此切符記載ノ場所ニ於テ仕拂可有之候也

長野縣廳(何廳)出納吏官職氏名 印

明治何年何月何日

長野縣本金庫(何地支金庫)

000,000

{ 金何圓
金何圓何錢 現金支給高
内 金何錢 國庫納金引去高 }

卅四

(第十一號) 甲 (此處餘白二寸綴代ヲ要ス)

(用紙適宜輪廓寸法曲尺縱五寸横三寸五分)

現金仕拂 長野縣本金庫又ハ長野縣何地支金庫

明治何年度歲出(歲入下戻)仕拂切符第何號(集合仕拂切符第何號金額氏名表第何號)

一金

右金額前記縣金庫ヨリ送金可及候條現金領收ノトキハ左ニ年月日及氏名ヲ記載シ關印ノ上直ニ該金庫ニ交付可有之候也

明治何年何月何日 長野縣廳又ハ何廳出納吏官職 氏 名 印

殿

前書ノ金額正ニ領收候也

住所

受取人 何 某印

明治何年何月何日

仕 拂 通 知 書

備 考

- 一 送金仕拂切符ヲ發シタルトキハ同時ニ本書ヲ受取人ニ送付スヘシ但電信爲替ヲ以テ送金セシムルトキハ此限リニアラス
- 二 本書ハ各目毎ニ調製スヘシ故ニ一ノ切符ニ對シ數通ヲ發スルモ妨ナシ
- 三 收入印紙貼用ヲ要スルモノハ之ヲ發スル際欄外上部ニ「印紙貼用ヲ要ス」ト朱記スヘシ
- 四 理由及算出ノ事由等記入ヲ要スルモノハ欄外上部ニ記載スヘシ
- 五 郡書記俸給仕拂ノトキハ金高ヲ左ノ通り記載スヘシ

一金

内 金

現金 支給高
國庫納金引去高

(第十一號) 乙 (此處余白二寸綴代ヲ要ス) (用紙適宜輪廓寸法曲尺縱五寸横三寸五分)

現金仕拂 長野縣本金庫又ハ長野縣何地支金庫

明治何年度歳出(歳入下戻)集合仕拂切符第何號金額氏名表第何號

一金

右金額前記縣金庫ニ於テ可仕拂ニ付此通知書引換ニ現金受取可有之候也

明治何年何月何日 長野縣廳又ハ何所出納吏官職 氏名 同

殿

前書ノ金額正ニ領收候也

住所

受取人 何 某 印

明治何年何月何日

備考

一 集合仕拂切符ヲ發シタルトキハ同時ニ本書ヲ受取人ニ交付スヘシ
二 以下第十一號甲ノ備考ニ全シ

仕 拂 通 知 書

第十二號 (用紙適宜) 輪廓寸法縱四寸五分 横三寸五分ノモノ二枚縱四寸五分 横二寸五分ノモノ一枚一枚接綴

第 何 號 返 納 人 何 某 納

明 治 何 年 度 何 々 (款) 要 定 額 戻 入

一金 (取扱主任印)

但 何 々

右明治何年何月何日限リ長野縣本金庫(長野縣何地支金庫)へ拂込ニ當廳(廳)出納吏へ納付スヘシ

明治何年何月何日 長野縣知事(各廳長)官職 氏名 同

割 印 告 知 書

出 納 吏 印

縣 金 庫 印

縣 費

卅九

領收証書

第何號	明治何年度	返納人	何 某 納
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 一金 ○取扱主任印 </div>			
右領收候也			
明治何年何月何日 長野縣廳(各麻)出納吏 官 職 氏 名 印			
縣 金	庫 印	第 何 號	返 納 人
		明 治 何 年 度	何 々 (款)
		要 定 額 戻 入	取 扱 廳 (麻) 名
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 一金 ○縣金取扱主任印 </div>		明治何年何月何日受入 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 縣 金 庫 印 </div>	

第十三號 用紙半紙野紙

明治何年度過年度支出要求書

何 廳 (麻)

科 目	要 求 額	何 年 度 豫 算	何 年 度 不 用 額	事 由
何 款				何地何某何々代何々ノ事由ニ依リ請求未済(出納閉鎖前現金交換未済)ノ分又ハ何年何月何日何々買入代金債主ヨリ請求洩ノ爲メ未済ノ分等可成細密ニ記載シ事ノ復雜ニ涉ルモノハ別紙ニ認ムヘシ
何 項				
何 目				
何 節				
合 計				

右要求候也

明治何年何月何日

知 事 宛

何廳(麻)長官職 氏 名 印

記簿諸表式凡例

一字体 帳簿并諸表式ニ登記スル字体ハ正格ニシテ彼是異様ナキヲ要ス

縣 費

二訂正

帳簿并諸表式ニ書損脱落アルモ漫ニ削除塗抹シ又ハ補綴糊貼ヲ許サス其書損脱落スル所ノ正中ニ二線(朱書ハ朱書)ヲ横畫シ其ノ上部ニ正字ヲ記入スヘシ

摘要并年月日等ノ書損ハ其誤字ノミヲ訂正スルモノトス

金員ノ書損厘位ニ在テハ厘位ニ留メ錢位ニ在テハ十錢位ヨリ厘位マテ四位ニ在テハ其一字ノ誤記タリトモ首位ヨリ厘位迄訂正スルモノトス

豫算増減、科目更正、定額戻入、傳票更正、記帳更正ニ際シ記帳方ハ其差額ヲ掲出シ扣除又ハ追記スヘシ 但扣除額ハ朱書トス

前項更正ハ記帳ノ際直チニ發見シタル場合ヲ除クノ外總テ回議ヲ起シ之ニ據リ更正スヘシ

三締方

帳簿ハ月計及累計ヲ記シ決算ノ上ハ二線ヲ畫シ結了ヲ示スヘシ

四繰越

次頁ヘ繰越ヲ爲サントスルトキハ墨ノ單線ヲ横畫シ「何月分追次締高」及「追次締高」トシ其月分及前月迄累計ノ員額ヲ掲クヘシ

前項ノ追次締高ヲ次頁ニ記載スルトキハ初メニ「前葉締高」トシ次ニ「何月分前葉締高」ト記載スヘシ

五縦記式モ前各項ノ例ニ準據スヘシ

六書式中△印ヲ付シタルモノハ朱字トス

七帳簿ノ寸法ハ曲尺縦一尺一寸横七寸五分トス

明治何年度何月分收入計算書面ノ通
リ相違無之候也

明治何年何月何日

長野縣廳又ハ何麻出納吏官職氏名印

知 事 宛

縣費

摘要	前未入額		調定済額		収入済額	
	円	銭	円	銭	円	銭
何々(款)						
何々(項)						
何々(目)	0		800000		800000	
△誤調定又ハ(下戻額)	△0		△5000		△5000	
項合計	0		800000		800000	
△誤調定計	△0		△5000		△5000	
何々(項)						
何々(目)	200000		20000		210000	
何々(目)	10000		120000		130000	
項合計	210000		140000		340000	
款合計	210000		940000		420000	
△誤調定及下戻額合計	△0		△5000		△5000	
何々(款)						
何々(項)						
何々(目)	10000		5000		15000	
何々(目)	0		100000		30000	
何々(目)	20000		1000		20000	
追次越高	20000		106000		65000	

四十五

不納缺損額	未収入額	備考
0	720000	何年何月調定ノ内何々ノ事由ニ依リ金何圓取消又ハ何年何月收入ノ内何々ノ事由ニヨリ金何圓下戻
△0	△0	
0	720000	
△0	△0	△滞納一覽
0	10000	△定期収入何月何日納期ノ分100,000
0	0	△——ク——何月何日——ク——50,000
		△隨時収入何月納期ノ分 5,000
0	10000	△——ク——何月——ク——15,000
		△滞納合計170,000
0	730000	
△0	△0	
0	0	備考
0	70000	一未収入ノ内滞納額アリタル
0	1000	トキハ毎月末日ニ於ケル金
		額ヲ備考へ掲出スルモノト
0	71000	

四十四

(號四十第)

明治何年度

明治何年何月分

收入計算書

應(屏)名

一用紙堅牢ナル西洋紙
一寸法曲尺縦九寸横七寸五分(摺代)
一左傍ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ

四十六

備考

明治何年度何年何月分支出計算書面ノ通
相違無之候也

明治何年何月何日

長野縣應出納吏官職氏名

知事宛

縣費

四十七

(第十五號)甲

明治何年度經常部(臨時部)

何年何月分

支出計算書

廳 名

一用紙堅牢ナル西洋紙
一寸法曲尺縦九寸横七寸五分(概代)
一左傍ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ

縣費

四十九

科 目	仕 拂 高		戻 入 高	
	円	銭	円	銭
何々(款)				
何々(項)				
何々(目)				
何々(目)				
何々(項)計				
何々(項)				
何々(目)				
何々(目)				
何々(項)計				
何々(款)合計				

四十八

縣費

科目更正定額戻入			
摘要	金額		
	円	銭	厘
<u>科目更正</u> 何々(項) 何々(目) 何月分仕拂切符第何號何某渡ノ分何々科目 フ以テ整理ノ處何々ニヨリ本科目ニ更正	0		
<u>定額戻入</u> 何々(項) 何々(目) 何月分仕拂切符第何號何某渡金何圓ノ内何々 ニヨリ過渡返納ノ分定額戻入セリ	0		

五十一

明治何年度何々何年何月分支出計算書面之通相違有之候也

明治何年何月何日

何廨出納吏官職 氏名 印

知事 宛

五十

(第十五號)乙

明治何年度經常部(臨時部)

何々款

何年何月分

支出計算書

廳 庫 名

- 一用紙堅牢ナル西洋紙
- 一寸法曲尺縦九寸横七寸五分(昭和)
- 一左傍ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ

備考

一此計算書ハ各款別ニ調製スルモノトス

二概算渡ハ渾テ其支拂ヲナシタル月ノ支
出額ニ算入スルモノトス

三本月戻入高ハ前金拂及概算渡精算過剩
額又ハ過誤拂ノ返納額ヲ其月(其月ノ支拂
ニ係ルモノ)

ニ於テ返納シタル金額ヲ掲クルモノト
ス

四前項戻入高ハ其當該科目仕拂高ノ内ヨ
リ扣除シ計ヲ掲クルモノトス

五前月迄仕拂高ノ内科目更正ヲ爲シタル
場合ハ前月迄仕拂高ノ内へ加算或ハ扣
除シ各事由ヲ備考ニ明記スヘシ

第十六號 用紙半紙封紙

明治何年度何々(款)概算金何年何月分(自何年何月何日
至何年何月何日)仕拂精算書

一金 元 受 高

内

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

金

右之通相違無之候也

縣 費

何々(項)仕拂高

何々(目)

何々(目)

何々(節)

何々(節)

何々概算仕拂高

現金翌月へ越高

前月ヨリ越高

本月受領高

本月概算拂過誤拂返納高

仕 拂 高

年月日

知事宛

何地出張

官職氏名印

第十七號 用紙美濃野紙

明治何年度歳入縣稅(何々)調定額計算書

一金五千七百三十圓

外金五十圓 免除

地租割

內

名稱 稅率 地租額 稅金

地租割 四十錢

一萬五千圓

金五千七百三十圓

外金五十圓

何々ニ付免除
未納

但四月一日現在ノ内水害ノ爲メ荒地ト成リ減地租金千圓此金二百圓
四月以後荒地起返ニ付増地租金千圓此金百八十圓

一金五千七百七十八圓五錢

金一圓五十錢

外金二十錢

欠損
未納

營業稅

金五十錢

免除

內 金五千三百三十四圓五十五錢

外金一圓

欠損

商業稅

金二十錢

未納

物品販賣業以下稅

等級 稅率 人員 稅金

一等 二圓四十錢 千廿人

金二千三百九十九圓

外金一圓

欠損

但四月一日現在ノ内前期中廢業等十人此稅金十五圓

新期開業等二十人此稅金十五圓内(前期中廢業五人此金一圓)

二等 二圓三十錢 五百人

金千五百十圓

三等 二圓二十錢 八百人

金千七百四十三圓

但四月一日現在ノ内前期中廢業等五人此稅金五圓
新期開業等十人此稅金十圓

縣費

計		金五千二百九十二圓 外金壹圓		欠捐
家族雇人行商稅				
稅率	人	員	稅	金
二十錢	十	人	金	二圓
賣藥請賣及行商稅				
稅率	員	數	稅	金
二十錢	百	枚	金	十六圓七十五錢
但四月一日現在ノ内前期中廢業十枚此稅金一圓 新期開業十五枚此稅金七十五錢				
菜蔬菓物業子露店呼賣商				
稅率	人	員	稅	金
四十錢	五	人	金	十九圓八十錢 外金二十錢 未納

五十八

計		金四百四十七圓五十錢 外金五十錢 金五十錢		欠捐 免除
生糸製造所稅				
稅率	個	數	稅	金
五十錢	五	百個	金	二百五十圓
職工稅				
稅率	人	員	稅	金
五十錢	二	百五十人	金	百十四圓 外金五十錢 欠捐
但四月一日現在ノ内前期中廢業等二十人此稅金五圓 新期開業等二十五人此稅金七圓				
染物業稅				

縣費

五十九

稅	率	個	數	稅	金
二十	錢	三	百	個	金五十七圓五十錢
但新期開業二十個此税金二圓五十錢					
炭燒業稅					
稅	率	個	數	稅	金
六十	錢	五	十	個	金二十六圓 外金五十錢
但新期開業十個此税金二圓五十錢 一金三千百九十七圓 外金五圓 免除					
平均額	戶	數	稅	金	
十	錢	三千五百	戶	數	金三百四十六圓
但四月一日現在ノ内廢戶等ノモノ三十戶此金二圓五十錢					

六十

等	級	稅	率	戶	數	稅	金
一	等	一	圓	千	戶	金九百五十圓 外金五圓	免除
但四月一日現在ノ内前期中廢戶等三十戶此金十五圓 新期增戶等三十五戶此金五圓							
二	等	九	十	錢	千	戶	金八百九十六圓
三	等	八	十	錢	千	戶	金八百圓
十	等	五	十	錢	五百	戶	金二百五十四圓
計							金二千八百五十一圓 外金五圓
免除							
備考 一 地租割戶數割ニ追加アリタルトキハ別項記載スヘシ 二 雜種稅ハ營業稅ニ準シ調製スヘシ 三 營業稅雜稅中前期内及後期納期前他市町村へ轉出ノモノハ前期中廢業者又前期内及後							

照 費

六十一

科目	支出額	豫算		豫算不用額
		令達額	増減額	
何々(項)				
何々(目)				
何々(目)				
何々(節)				
何々(項)				
何々(目)				
何々(節)				
何々(節)				
合計				

増減理由説明

一 何々項金何程 増(減)

何々(目)支出額ヲ其豫算令達額ニ比シ何程ノ増(減)アルハ何々(事由ヲ詳記ス)ニ由ル

何々(目)(前ニ準シ増減アルモノハ悉ク説明スヘシ)

六十四

右明治何年度歳出何々(款)決算書面之通有之候也

年 月 日 知 事 宛 何 府 出 納 吏 官 職 氏 名 印

備考

一 豫算額中令達額ノ欄内ニハ當初ノ令達額増減ノ欄内ニハ流用其他ノ増減ヲ差引シタルモノヲ掲記スヘシ

二 決算書提出后ノ異動ニ係ルモノハ收入決算書備考第三ニ同シ

調定額	收入額				不納欠損額	未納額
	證明額	證明未済額	證明額	證明未済額		

前書之通及引繼候也

前任出納官吏 官職氏名印

右引繼相受候也

後任出納官吏 官職氏名印

明治 年 月 日

知 事 宛

縣 費

六十五

摘要	豫算額	支出額				殘額
		證明額	濟額	證明未濟額	計	
	円	円	円	円	円	円
何々(款)						
何々(項)						
何々(目)						
何々(目)						
計						
何々(款)						
何々(項)						
何々(目)						
何々(目)						
計						
合計						

前書之通及引繼候也
前任出納吏 官職 氏名 印

右引繼相受候也
後任出納吏 官職 氏名 印

明治 年 月 日

知事 宛

(第二十號)

明治何年度經常部(臨時部)

自明治何年何月何日至何年何月何日

收入事務引繼計算書

摘要

何々(款)

何々(項)

何々(目)

計

何々(款)

何々(項)

何々(目)

計

合計

一用紙堅牢ナル西洋紙
一寸法曲尺縦九寸横七寸五分(額代)
一左傍ニ綴代一寸ヲ存置スヘシ

縣費

(第廿二号)

明治何年度

日記簿

長野縣

三十一

借方 何 曜 日 明治何年

原簿丁數 円 銭厘 円 銭厘

三十一

縣
費

年月日	摘要	日記 帖數	借方		貸方	借或 入貸	殘 高
			円	銭厘			
明治何年							

三十三

年月日	摘要	日記 帖數	借方		貸方	借或 入貸	殘 高
			円	銭厘			
明治何年							

三十一

(第廿四號)

明治何年度

現金出納簿

長野縣

七十六

年月日	摘要	憑書 番號	借方		貸方		借或 貸		殘高	
			円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘
明治年										

備考

一本簿ハ各款各目毎ニ口座ヲ設ケ記帳
スルモノトス
二款項目同シキモノハ款項ヲ省キ目ノ
口座ヲ設ケ記帳スルモノトス

縣費

七十七

何々(款) 何々(目)		摘要	調定済額		収入済額		不納款損額		収入未済額	
年月日	摘要		円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
何	何	調定額令書自第何號至第何號	800	000					800	000
何	何	何々何某納收第何號			20	000			780	000
何	何	△誤調定報第何號	△5	000					775	000
何	何	何々何某納分何年何月何日第何號内何々ヨリノ下戻支第何號			△5				780	000
		(何)月分合計	800	000	20	000	0			
		誤調定及下戻額	△5	000	△5	000				
		(何)月分純合計	795	000	15	000			780	000
		備考								
		一 本簿ハ各款各目毎ニ口座ヲ設ケ登記スル者トス								
		二 本簿ノ同シキモノハ款項ヲ省キ目ノ口座ヲ設ケ登記スルモ同シキモノハ款項ヲ省キ目ノ口座ヲ設ケ登記スル者トス								
		三 調定済額ノ内ニハ徵稅令書若クハ納額ノ確定シタルトキ交付スルモノトス								
		四 現納ノ金ハ納付ノ切符ニハ交付シタルトキ登記スルモノトス								
		五 不納ノ金ハ領收ノ切符ニハ交付シタルトキ登記スルモノトス								

(第廿七號)

明治何年度

備荒儲蓄金出納簿

應 名

		何々(項)	何々(目)	何々(節)			
年月日	摘要	報號	支號	支號	豫算額	支出額	豫算殘額
明治何年	何	何	何	何	円	銭	厘
	豫算令達額	報號			0		0
	何々費拂	支號				0	0
	豫算増額何費ヨリ流用				0		0
	△何月分ノ内定額戻入					△0	0
	△豫算ノ内何目へ流用減額				0		0
	何月分合計				0	0	
	△豫算減額及定額戻入合計				△0	△0	
	純合計				0	0	
	△備考 一 豫算額ノ欄ハ豫算令達及豫算増減ノト キ登記スルモノトス 二 支出額ノ欄ハ仕拂及定額戻入ノトキ登 記スルモノトス 三 概算拂モ本拂ト同シク支出額ニ登記ス ルモノトス						

縣費

八十五

(第廿八號)

明治何年度

收 入 簿

何 麻 名

八十四

年月日	摘要	調定濟額		收入濟額		不納缺損額		收入未濟額	
		円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘	円	銭厘
明治	年								

(第廿九號)

明治何年度

支出簿

何 月 日

年月日	摘要	証憑 書號	借方		貸方		借或貸		殘
			円	銭	円	銭	円	銭	
明治何年									

縣費

八十九

(第三十號ノ一)

明治何年度

縣炭入内譯簿

備考

- 一本簿ハ各扉毎ニ款目節ノ口座ヲ設ケテ
記スルモノトス
- 二款項目同シキモノハ款項ヲ省キ目ノ口
座ヲ設ケテ登記スルモノトス

長野縣

八十八

年月日	摘要	概算液額	精算額		未精算額
			支出	戻入	
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
何 何	何々甲某へ概算渡支第何號	3000			3000
何 何	全上精算 報第何號		2500		
何 何	全上=付返納 收第何號			0500	0
	(甲) 月分合計	3000	2500	500	
何 何	何々乙某へ概算渡支第何號	3000			3000
	(乙) 月分合計	3000	0	0	
	累 計	6000	2500	0500	

縣
費

九十一

(第三十號ノ二)

明 治 何 年 度

縣 歲 出 内 譯 簿

備 考

一本簿ハ便宜ニヨリ各款毎ニ調製スルモ妨ナシ
 二本簿ハ各麻毎(繼續事業費内譯簿、復築事業費内
 譯簿ヲ際シ)ニ款目節ノ口座ヲ設ケ登記スルモ
 ノトス
 三備荒儲蓄金内譯簿、勸業蓄積金内譯簿、小學校教
 員恩給基金内譯簿、小學校教員恩給基金内譯簿、慈
 惠救濟資金内譯簿ハ此書式ニ依ル

題 (麻) 名

九十

(第三十號ノ四)

貸下及預金明細簿

長野縣

備考

一本簿ハ各債主毎ニ口座ヲ設ケ登記スルモトス

年月日	摘要	抵當		憑書 番號	期限	
		種類	價格		自	至

年月日	摘要	憑書 番號	記號	番號	備考
明治何年					

縣費

九十七

借方		貸方		殘	
額	面價	額	面價	額	面價
円	銭	円	銭	円	銭

九十六

○長野縣訓令第五百五號

會計檢査規程別冊之通改正ス

明治二十三年七月二十八日

長野縣知事

内海忠勝

郡役所
警察署
監獄
尋常師範學校
尋常中學校
徵毒病院
測候所
道路開鑿掛派出所

長野縣會計檢査規程

- 第一條 地方稅備荒儲蓄金及雜部金ノ會計ニ屬スル金錢ノ收支ハ勿論其財產物品ニ關スル計算ハ本規程ニ據リ特ニ命シタル檢査員ヲシテ之ヲ檢按審査セシム
- 第二條 前條檢査ハ定時及臨時ニ之ヲ施行ス
- 第三條 定時檢査ハ毎年七月ニ於テ前年度ノ會計決算ニ對シ之ヲ施行シ臨時檢査ハ出納吏交替ノトキ若クハ知事ニ於テ必要ト認メタルトキ之ヲ施行ス
- 第四條 地方稅備荒儲蓄金及雜部金ノ會計ニ付定時檢査スヘキモノ左ノ如シ
 - 一 歲入歲出ノ決算

- 二 財產物品ノ消長
- 三 縣有資金ノ計算
- 四 記簿及證憑書類
 - 第五條 歲入歲出決算ノ檢査ハ歲入ニ在テハ上納書又ハ送納仕譯書歲出ニ在テハ請求書若シハ精算書及決算帳其他證憑書類ニ就キ檢査スヘシ
 - 第六條 財產物品ノ檢査ハ請求書又ハ決算報告書及證憑書類ニ就キ檢査スヘシ
 - 第七條 縣有資金計算ノ檢査ハ預ケ金又ハ貸下金ニ對スル利子ノ當否及收入其他證書並抵當物ヲ檢査スヘシ
 - 第八條 記簿及證憑書類ノ檢査ハ金錢物品ノ計數年度決算ニ係ルモノハ其結了證書ノ調理等ヲ檢査スヘシ
 - 第九條 地方稅備荒儲蓄金及雜部金ノ會計ニ付臨時檢査スヘキモノ左ノ如シ
 - 一 金錢收支ノ實況
 - 二 抵當及保管物品ノ實況
 - 三 財產物品ノ實況
 - 四 記簿及證憑書類ノ實況
 - 第十條 金錢收支ノ實況檢査ハ金櫃ノ現狀經費金收入金其他保管ニ係ル一切ノ金錢ヲ調査スヘシ但金櫃ノ檢査ヲ施行スルニハ豫メ管守者ニ通知シ其立會ヲ受クヘシ
 - 第十一條 抵當及保管物品ノ實況檢査ハ預ケ金及貸下金ノ抵當其他保管ニ係ル一切ノ物品ヲ調査スヘシ

第十二條 財産物品ノ實況検査ハ物品ノ數量現況等ヲ查覈シ其出納又ハ保管ノ適否ヲ監視スヘシ

第十三條 記簿及證憑書類ノ實況検査ハ金錢物品ノ計數收支計算ノ正否記簿方法ノ當否事項記註

ノ了否及證書ノ調理其他参照書類ノ整否等ヲ調査スヘシ

第十四條 検査員ハ所屬官署長又ハ當該主任者ニ向テ検査上必要ナル簿書其他計算書類ヲ請求シ

又ハ主任者ノ辨明書ヲ要求スルコトヲ得

第十五條 検査員ハ検査ノ成績ニ依リ摘發シタル事項ニ付當該主任者ニ推問書ヲ發付シ答辨又ハ

正誤セシムルコトヲ得

推問書ニ掲グル事項ハ左ノ如シ

一 不規ニ對スル批難

二 將來ノ措置ニ對スル注意

三 不明瞭ノ件ニ對スル推問

第十六條 検査員ハ前條検査施行ノ後主任者ノ計算正當ナラサルカ又ハ會計法規ニ違反スルモノ

アリト認定シタルトキハ本廳ニ在テハ直ニ知事ノ裁決ヲ請ヒ所屬官署ニ在テハ其長ニ告知シ更

ニ其事由ヲ具シ知事ニ申報スヘシ

第十七條 検査員所屬官署へ臨檢スルトキハ知事ノ命令書ヲ携帶シ之ヲ該所長若クハ其代理人ニ

示スヘシ

○長野縣訓令第三十號

出納吏
縣金庫

長野縣金庫出納事務規程別冊之通り相定ム

明治三十二年三月二十日

長野縣知事

園山 勇

長野縣金庫出納事務規程

第一章 總 則

第一條 縣金庫ノ事務ヲ分チテ歳入部歳出部雜部ノ三種トス

第二條 縣金庫ニ於テ現金ヲ出納スルハ縣廳及各屬ノ執務時間ニ據ルヘシ但臨時至急ノ仕拂ヲ要

スルトキ又ハ納期ニ際シ領收金ノ幅湊スルトキハ此限ニアラス

第三條 縣金庫ニ於テ領收スル現金ハ其持參人ノ目前ニ於テ鑑定スヘシ

第四條 縣金庫ニ於テ仕拂ニ用ユル現金ハ其金庫在合ノ通貨ヲ以テスヘシ但特ニ種別ヲ指定シタ

ルモノハ此限ニアラス

第五條 縣金庫ハ照較ニ供スル爲メ其印鑑及事務取扱主任者ノ氏名印鑑ヲ豫メ縣廳及各屬へ差出

スヘシ

縣金庫ニ於テ仕拂上照較ニ供スル印鑑ハ縣廳及各屬ヨリ直ニ關係ノ金庫へ送付ヲ受クルモノト

ス

第二章 歳入部

第六條 歳入部ノ取扱金ハ概テ左ノ六種ニ分チ各其年度ヲ區別シテ整理スヘシ

一 縣歳入

二 備荒儲蓄金歳入

三 恩給基金歳入

縣 費

四 恩給金歳入
 五 慈惠救済金歳入
 六 勸業蓄積金歳入
 第七條 縣金庫ニ於テ納人ヨリ徵稅令書納付書又ハ納入告知書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ徵稅令書納付書又ハ納入告知書ニ式ノ如ク記入押印シ其領收證書ハ別符ト接続ノ儘納人ヘ交付シ徵稅令書納付書又ハ納入告知書ハ縣金庫ニ留メ置クヘシ
 第八條 縣金庫ニ於テ縣廳又ハ各縣出納吏ヨリ現金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ該書ニ接続セル保管證書ニ式ノ如ク記入捺印シ之ヲ當該出納官吏ヘ返付シ現金拂込書ハ縣金庫ニ留メ置クヘシ
 第九條 歳入下戻金ハ歳出金仕拂ノ例ニ依リ其年度歳入額ノ内ヨリ仕拂フヘシ
 第十條 縣金庫ハ現金領收簿ノ徵稅令書納付書納入告知書及現金拂込書並ニ現金仕拂ノ歳入下戻金仕拂切符案内仕拂切符其他ノ證憑書類ヲ其年度及各廳庫毎ニ區分シ一ヶ月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ取入額及下戻額ニ對查シ共ニ之ヲ保存スヘシ
 第三章 歳出部
 第十一條 歳出部ノ取扱金ハ概テ左ノ六種ニ分テ各其年度ヲ區分シテ整理スヘシ
 一 縣歳出
 二 備荒儲蓄金歳出
 三 恩給基金歳出
 四 恩給金歳出

明治三十二年五月訓令第九十五號
 三條中削除第十條

五 慈惠救済資金歳出
 六 勸業蓄積金歳出
 第十二條 各縣ニ於テ仕拂フヘキ歳出ハ仕拂豫算額ヲ定メ毎年度開始前又ハ臨時ニ縣本金庫ヘ令達ヲ爲スニ依リ縣本金庫ハ其仕拂額ヲ關係金庫ヘ移牒スヘシ
 縣金庫ハ前項ノ仕拂豫算額ニ超過ノ仕拂ヲ爲スコトヲ得ズ但特ニ命令シタルトキハ此限ニアラズ
 第十三條 縣金庫ニ於テ縣廳又ハ各縣出納吏ヨリ案内仕拂切符集合仕拂切符若クハ縣金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ仕拂切符集合仕拂切符ノ送付ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査スヘシ
 一 該仕拂切符ノ様式ニ違フ有無
 二 集合仕拂切符ノ金額ハ該切符ニ添付シタル各債主ノ金額氏名表ノ金額ト違フ有無
 縣金庫ハ集合仕拂切符及縣金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂切符集合仕拂切符ニ對シ受領ノ都度其領收證書(第一號書式)ヲ當該出納吏ヘ差出スヘシ
 第十四條 縣金庫ヘ前條第一項ノ調査ヲ爲シ該切符ヲ不正當ト認ムルトキ若クハ汚損シテ其要部ヲ認メ難キトキハ其事由ヲ具シ直ニ之ヲ當該出納吏ニ返付スヘシ
 第十五條 縣金庫ハ仕拂切符又ハ仕拂通知書(通知書ハ出納吏ヨリ債主ヘ直接交付スルヲ以テ債主ハ縣金庫ヨリ金領收ノ証ト爲スモノナリ而シテ債主ノ領收證書ニ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ)ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求ス該通知書ニ其旨記載シアルヲ以テ縣金庫ハ之ニヨリ債主ニ印紙ヲ貼用セシムヘシ)ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スル者アルトキハ之ヲ案内仕拂切符ニ添付シアル金額氏名表ニ對查シ其金額ヲ交付シ仕拂通知書ニ在テハ其領收証欄内ヘ署名捺印セシムヘシ
 但現金交付ノ際仕拂切符及案内切符又ハ金額氏名表ニ年月日現金交付済ノ旨記入シ若シ集合切

符ニシテ第二十三條ニ係ル一部分ノ現金仕拂未済アルトキハ金額氏名表ニ交付未済ノ旨ヲ記入シ其仕拂切符ニハ交付済ト交付未済ノ金額ヲ内譯ニ記載シ置クヘシ

第十六條 縣金庫ハ左ノ場合ニ於テハ其事由ヲ仕拂切符又ハ仕拂通知書持參人ニ告ケ之ニ對スル現金ノ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 仕拂切符又ハ仕拂通知書ノ様式ニ違ヒ若クハ案内仕拂切符又ハ金額氏名表ト符合セザルトキ
- 二 仕拂切符又ハ金額氏名表ノ汚損シテ案内仕拂切符又ハ金額氏名表ト照合シ難キトキ
- 三 仕拂切符又ハ仕拂通知書ノ仕拂期限ヲ經過シタルトキ
- 四 案内仕拂切符又ハ金額氏名表ノ到達セザルトキ
- 五 出納吏ヨリ仕拂停止ノ通知ヲ受ケタルトキ

前項第一第二ニ係ルモノニシテ出納吏ノ証明書ヲ得テ現金ノ仕拂ヲ請求スル者アルトキハ前項ノ手續ニ依リ其金額ヲ交付スヘシ但證明書ハ仕拂切符又ハ仕拂通知書ニ添付シ置クヘシ

第十七條 縣金庫ニ於テ其金庫所在地外ニ仕拂ヲ要スヘキ仕拂切符若クハ集合仕拂切符ニ對シ仕拂ヲナストキハ普通仕拂金ノ順序ニ據リ之ヲ拂出シ受取人ニ送付シ通知書ノ領收証欄内ニ署名捺印シタル領收証書ヲ徵スヘシ但官廳へ送金スル場合又ハ電信爲替ヲ以テ送金スル場合ニハ受取人ヨリ適宜ノ領收証書ヲ徵スルコトヲ得又通知書ノ領收欄内へ署名捺印シタル領收証書ヲ縣金庫へ回送ノ途中ニ紛失シタル場合ハ受取人ヨリ現金ヲ領收シタル旨ノ証明書(第二號書式)ヲ差出サシムヘシ

前項ニヨリ送金ノ手續ヲ爲シタル事故アリテ受取人ニ交付シ難キトキハ其旨當該出納吏ニ報告

シ現金ノ仕拂ヲ取消ヘシ

第十八條 縣金庫ニ於テ仕拂切符若クハ仕拂通知書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタル旨届書ヲ受ケタルトキハ既ニ現金仕拂済ノモノニ在テハ其旨ヲ届人ニ告ケテ届書ヲ返付シ又現金仕拂以前ノモノニ在テハ届人ニ届書ノ受領証書(第三號書式)ヲ交付シ其届書ハ當該出納吏ニ送付シ案内仕拂切符又ハ金額氏名表ニ仕拂故障アル旨符箋シ置クヘシ

出納吏ヨリ前項届書ニ正當ト認ムル旨記入シテ還付シタルトキハ其旨届人ニ通知シ曩ニ交付シタル届書ノ領收証書ニ現金領收ノ旨與書ノ上届書ニ捺捺シタル印章ト同一ノ印章ヲ捺捺セシメ現金ヲ交付スヘシ

第十九條 縣金庫ニ於テ出納吏ヨリ現金仕拂停止ノ通知ヲ受ケタルトキハ即時之ヲ取調ヘ既ニ現金仕拂済ノモノニ在テハ其旨ヲ當該出納吏ニ報告シ又現金仕拂以前ノモノニ在テハ案内仕拂切符又ハ金額氏名表ニ其旨ヲ符箋シ置クヘシ

第二十條 縣金庫ハ第十五條ノ領收證書及ヒ第十七條ノ領收證書若クハ証明書ニ毎月之ヲ取纏メ送付書(第四號書式)ヲ添ヘ翌月三日限リ當該出納吏ニ送付シテ其領收證書ヲ受クヘシ

第二十一條 縣金庫ニ於テ返納人ヨリ返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ其年度ノ歳出へ戻入ノ手續ヲ爲シ返納告知書ニ式ノ如ク記入捺印シ其領收證書ハ別符ト接続ノ儘返納人へ交付シ返納告知書ハ縣金庫ニ留メ置クヘシ

第二十二條 縣金庫ハ毎月受領セル案内仕拂切符ノ内其月末日(十二月ハ二十八日)迄ニ仕拂切符發付ニ至ラスシテ當該出納吏ヨリ返付ノ請求アリタルトキハ直ニ之ヲ返付スヘシ

第二十三條 縣金庫ハ毎年度ノ案内仕拂切符集合仕拂切符若クハ金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要ス

ヘキ仕拂切符集合仕拂切符ニシテ出納閉鎖期限迄ニ現金仕拂ノ請求ナキモノ若クハ送金スルヲ得サルモノハ報告書(第五號)ヲ調製シ該切符(集合仕拂切符ニシテ一部分ノ仕)ヲ添ヘ之ヲ當該出納吏ニ返付スヘシ

第二十四條 縣金庫ハ現金交付濟仕拂切符集合仕拂切符及縣金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂切符集合仕拂切符並ニ返納告知書其他ノ證憑書類ヲ各年度各廳解毎ニ區分シ一ヶ月分ヲ取細メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ仕拂額及戻入額ニ對查シ共ニ之ヲ保存スヘシ

第四章 雜部

第二十五條 縣廳及各廳出納吏ノ職務上取扱フ所ノ現金ニシテ雜部金取扱規程ニ據リ縣金庫ニ於テ保管預リヲ爲スモノヲ雜部下ス

第二十六條 縣金庫ニ於テ納入ヨリ雜部金拂込通知書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ該書ニ接續セル保管證ニ式ノ如ク記入捺印シ其領收証書ト接續ノ儘納入ヘ交付シ拂込通知書ハ縣金庫ニ留メ置クヘシ

第二十七條 縣金庫ニ於テ出納吏ヨリ雜部保管金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ該書ニ接續セル保管證ニ式ノ如ク記入捺印シ之ヲ當該出納吏ニ送付シ拂込書ハ縣金庫ニ留メ置クヘシ

第二十八條 縣金庫ニ於テ納入ヨリ入札保證金其他一時預ケ金ヲ受ケタルトキハ其預リ証書(第六號書式)ヲ調製シ之ヲ納入ニ交付スヘシ

第二十九條 縣金庫ニ於テ出納吏ヨリ雜部保管金拂込書ヲ添ヘ前條之預リ証書ヲ受ケタルトキハ第二十六條ノ手續ヲ了シ其振替ヲ爲スヘシ

第三十條 縣金庫ハ雜部金ヲ歲入ニ編入ノ爲メ出納吏ヨリ引出切符ヲ添ヘ現金拂込書ヲ受ケタルトキハ歲入ヘ振替ヲ爲スヘシ

第三十一條 雜部金仕拂ノ順序ハ本章ニ掲クルモノノ外ハ總テ第三章ノ例ニ據ル但入札保證金ノ如キ直ニ還付ヲ要スルモノニシテ縣金庫ノ預リ証書ニ縣廳又ハ各廳出納吏ノ裏書及捺印アルモノヲ以テ現金ノ拂戻ヲ請求スルモノアルトキハ之ヲ引替ニ其現金ヲ交付スヘシ

第三十二條 縣金庫ハ現金領收濟ノ雜部保管金拂込書並ニ現金交付濟ノ引出切符案内引出切符其他ノ證憑書類ヲ各廳解毎ニ區分シ一ヶ月分ヲ取細メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ受拂額ニ對查シ共ニ保存スヘシ

第五章 現金運轉

第三十三條 縣本金庫ニ於テ領收シタル現金ハ其金庫仕拂基金ニ充ツヘシ

第三十四條 縣支金庫ニ於テ領收シタル現金ハ本金庫ニ於テ縣支金庫ノ仕拂基金ヲ殘シ其餘裕金ハ臨時之ヲ縣本金庫ヘ回送セシムヘシ

第三十五條 縣金庫相互間回送金振替金ノ取扱順序ハ縣本金庫之ヲ定ムヘシ

第三十六條 縣本金庫ハ毎年度仕拂基金ノ殘額ニ對シ縣廳出納吏ヨリ翌年度ヘ繰越ノ通知ヲ受ケタルトキハ年度振替ノ手續ヲ爲スヘシ

第六章 帳簿及計算報告

第三十七條 縣本金庫ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記スヘシ

一 現金出納簿 (第七號書式)

二 歲入金各扉内譯簿 (第八號書式)

三 歲出金各扉内譯簿 (第九號書式)

四 雜部金各府內譯簿 (第十號書式)
 第三十八條 縣支金庫ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記スヘシ
 一 現金出納簿 (第十一號書式)
 二 歲出金支出簿 (第十二號書式)
 第三十九條 縣金庫ハ設備ノ帳簿ニ據リ左ノ計算報告書ヲ調製スヘシ
 一 現金出納日計表 (第十三號書式 甲縣本金庫 丙縣支金庫)
 二 歲入金月計對照表 (第十四號書式)
 三 歲出金月計對照表 (第十五號書式)
 四 雜部金月計對照表 (第十六號書式)
 第四十條 日計表ハ現金出納簿ニ據リ毎日之ヲ調製シ縣本金庫ハ本支金庫現在金內譯表 (第十三號書式ノ乙)ヲ添ヘ翌日マテニ縣廳出納吏ニ差出シ縣支金庫ハ即日之ヲ縣本金庫ヘ送付スヘシ
 第四十一條 月計對照表ハ縣本金庫ニ於テ現金出納簿ニ據リ直接取扱タル金額ヲ揭ケ毎月之ヲ調製シ歲出金月計對照表ハ現金仕拂濟ノ仕拂切符 (集合仕拂切符送金)ヲ雜部金月計對照表ハ現金仕拂濟ノ引出切符ヲ添ヘ翌月三日迄ニ縣廳出納吏ニ差出シ其證明ヲ受ケ還付ヲ請フヘシ
 縣支金庫ニ於テハ歲入金及雜部金ハ現金出納簿ニ據リ歲出金ハ歲出金支出簿ニ據リ毎月之ヲ調製シ歲出月計對照表ハ現金仕拂濟ノ仕拂切符 (集合仕拂切符送金)ヲ雜部金月計對照表ハ現金仕拂濟ノ引出切符ヲ添ヘ當該出納吏ノ證明ヲ受ケ翌月三日迄ニ縣本金庫ヘ送付スヘシ
 縣本金庫ニ於テ前項ノ月計對照表ヲ受ケタルトキハ之レカ照査ノ手續ヲ爲シ第一項ノ月計對照表ト共ニ翌月十日迄ニ之ヲ縣廳ニ差出スヘシ

第四十二條 縣金庫ニ於テ出納吏ヨリ年度科目訂正ノ通知ヲ受ケタルトキハ該通知書ニ據リ訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

附 則

第四十三條 此規程ハ明治三十二年度所屬ノ會計ヨリ施行ス

帳簿其他ノ様式凡例

- 一 帳簿ノ寸法ハ曲尺ニテ凡ソ縱壹尺壹寸横七寸五分トス
 - 二 帳簿中口座ヲ分ツモノハ總テ首部ニ見出シヲ記入スルモノトス
 - 三 帳簿ハ誤記アルモ改竄スヘカラス若シ訂正ヲ要スルトキハ其文字ノ正中ニ朱ノ二線ヲ畫シ正字ヲ其上部ニ墨書スルヲ例トス
 - 四 書式中△印ヲ付スルモノハ朱字ヲ以テ記載スルモノトス
 - 五 日計表及月計對照表ノ用紙ハ鑿砂引美濃紙ヲ用ヒ左傍ニ級代壹寸ヲ存置スヘシ
 - 六 日計表及月計對照表ノ寸法ハ曲尺ニテ縱九寸横六寸五分 (級代トモ)トス
- (第一號書式) 用紙半紙野紙

仕拂切符領收証

種 別	費 目	年 度	番 號	金 額	債 主	名
送金仕拂切符	何年度縣歲出	何年度	第何號	二〇〇〇〇	何	某
集合仕拂切符	何年度何々	全 上	第何號	、、、、	何	某 外 何 人

右領收書候也

年月日

何應解出納吏

官職氏名宛

(第二號書式)

用紙半紙野紙

證明書

何年度縣歲出(何々)

何年何月何日發行仕拂切符(集合仕拂切符第何號金額氏名表)第何號

一金何程

右領收證書回送途中紛失ニ付現金領收済ナルコトヲ証明候也

年月日

何縣金庫宛

何府縣何郡市何町村何番地

何

某印

(第三號書式)

用紙半紙野紙

届書領收証

仕拂切符(仕拂通知書)第何號

何年何月何日何應(應)出納吏官職氏名發行

債主何府縣何郡市町村何某

一金何程

右仕拂切符(仕拂通知書)被盜(亡失)ニ係ル何年何年何月何日付ノ届書正ニ領收候也

年月日

住所氏名宛

何縣金庫印

(受取人領收証書與書ノ例)
前書現金正ニ領收候也

年月日

住所

何縣金庫印

(第四書式)

用紙半紙野紙

送付書

何年度歲出(何々)

一領收證書

何枚

但縣金庫所在地外ノ債主(送金ニ係ル領收證書ニシテ何年何月中到達ノ分

何年度何々

一領收證書

何枚

此金額何程

但直拂集合仕拂切符ニ依リ何年何月中仕拂ニ係ル分

右及送付候條領收證書交付有之度候也

年月日

何縣金庫印

縣費

何廳麻出納吏

官職氏名宛

備考 各種目別ニ區分シ尙送金ト直拂集合拂切符ニ係ル分トハ各別ニ調製スヘシ
(第五號書式) 用紙半紙野紙

何年度縣歲出(又ハ何々)仕拂未濟額報告書

種別	番號	發行年月日	仕拂未濟金額	債主	事由
案內仕拂切符	第何號	何年何月何日	五〇〇〇	何某	出納閉鎖期限迄ニ仕拂請求ナキモノ
集合仕拂切符	第何號金額 氏名表第號	、、、、、	、、、、、	、、、、、	全
送金仕拂切符	、、、、、	、、、、、	、、、、、	、、、、、	何々事故ノ爲メ送金シ得ナルモノ
合計	何返付ノ枚 何枚		、、、、、		

右現金仕拂未濟ニ付別紙仕拂切符相添此段及報告候也

年月日

何廳麻出納吏

官職氏名宛

備考 各種目ニ區分調製スヘシ

何縣金庫印

(第六號書式)

用紙西洋紙寸法曲尺縱四寸五分
橫三寸三分備考拂戻濟ノ上ハ原簿ト摺著
保存スヘシ

第何號預ケ人

何

某

一金何程

但何々

何年何月何日預ッ

何年何月何日拂戻

符原証リ預仮

割印

縣費

回 送 金									
年月日	摘 要	借		貸		借或ハ貸		残	
		円	銭厘	円	銭厘			円	銭厘
明治何年	何何			3,500	000				
	何	1,000	000			貸		2,500	000
	何			1,500	000			ノ	4,000
		何月分合計		1,000	000	5,000	000		

本口座ハ總テ日計表ニヨリ登記
スルモノニ付支金庫相互間ノ回
送ハ登記セサルモノトス

縣
費

百十七

証 リ 預 仮	
第何號	預ケ人
何	某
一金何程	
但何々	
右正ニ預リ候也	
年月日	何縣金庫
	取扱人 何 某 印

(出納吏裏書ノ例)
表書ノ金額此証書引換ニ拂渡スコトヲ要ス

何縣出納吏
官 職 氏 名 印

百十六

縣費

何年度縣歲出					
年月日	摘要	借	貸	借或入貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何	支出	1,260,000			
何	戻入		△10,000	借	1,250,000
何	現金仕拂取消		△5,000	入	1,245,000
	何月分合計	1,260,000	0		
	戻入及現金取消合計	△15,000			
	何月分純合計	1,245,000	0		

百十九

雜部金

雜部金					
年月日	摘要	借	貸	借或入貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何	受入		450,000		
何	拂出	150,000		貸	300,000
	何月分計	150,000	450,000		

百十八

縣費

何年度縣歲入									
年月日	摘要	借		貸		借或貸	殘		
		円	銭厘	円	銭厘		円	銭厘	
明治何年	何何					貸			
	收入			3,000,000			3,000,000		
	何月分計	0		3,000,000					

百廿一

何年度恩給基金歲入									
年月日	摘要	借		貸		借或貸	殘		
		円	銭厘	円	銭厘		円	銭厘	
明治何年	何何					貸			
	收入						350,000		350,000
	何月分計	0					350,000		

百二十

縣
費

回 送 金						
年月日	摘 要	借	貸	借或入貸	残	
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘	円 銭 厘
何	何	回送拂出	5.000000			
	ク	回送受入		1.000000	借	4.000000
		何月分計	5.000000	1.000000		
本口座ハ現金ノ發着シタル日ニ 於テ登記スルモノトス						

百廿三

縣 支 金 庫						
年月日	摘 要	借	貸	借或入貸	残	
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘	円 銭 厘
何	何	歳 入	3.350000			
	ク	歳 出		1.260000		
	ク	歳出戻入	10000			
	ク	雑部金受入	450000			
	ク	雑部金拂出		150000		
	ク	回送受人	3.500000			
	ク	回送拂出		1.000000	借	4.900000
何	何	歳出仕拂取消	5000			
	ク	回送受入	1.500000			6.405000
		何月分合計	8.815000	2.410000		

百廿二

縣費

何年度恩給基金歳出							
年月日	摘要	借		貸		借或入貸	残
		円	銭厘	円	銭厘		
明治何年 何 何	案内仕拂切符第何號	400	000	0		借	400000
	何月分計	400	000	0			

百廿五

雜部金							
年月日	摘要	借		貸		借或入貸	残
		円	銭厘	円	銭厘		
明治何年 何 何	雜部金拂込通知書何枚			400	000		
	引出切符第何號	100	000				
	縣稅歳入へ振替ノ爲メ引出切符第何號ニテ拂出	50	000			貸	250000
	何月分合計	150	000	400	000		

百廿四

縣費

何年度縣歳出					
年月日	摘要	借	貸	借或ハ貸	残
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何 何	案内仕拂切符第何號ヨリ何號ニ至ル	2,000,000			
ク	集合仕拂切符等何號	3,500,000		借	5,500,000
何	仕拂切符第何號ヨリ何號ニ至ル	1,800,000		ク	7,300,000
	何月分合計	7,300,000	0		

百廿七

何年度縣歳出未渡金					
年月日	摘要	借	貸	借或ハ貸	残
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何 何	案内仕拂切符第何號		500,000	貸	500,000
何	仕拂切符第何號何々事				
	故ニ依リ仕拂取消		50,000		
ク	案内仕拂切符第何號	300,000		ク	250,000
	何月分合	300,000	550,000		

百廿六

縣費

何年度縣歳入					
年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
明治何年	何	円	銭	円	銭
	納入告知書何枚		1,020,000		
	引出切符第何號ニテ下戻	△20,000			
	現金拂込書ニヨリ雜部金ヨリ振替受入		50,000	貸	1,050,000
	何 納付書何枚		300,000	ク	1,350,000
	何月分合計	0	1,370,000		
	△ク下戻合計		△20,000		
	何月分純合計	0	1,350,000		

百廿九

何年度恩給基金歳入					
年月日	摘要	借	貸		残
明治何年	何	円	銭	円	銭
	納入告知書何枚		50,000	貸	50,000
	何月分計	0	50,000		

百廿八

縣費

縣 本 金 庫 帳					
年月日	摘要	借	貸	借或入貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	前年度繰越金受入	50,000,000			
〃	歳入	1,070,000			
夕	歳入下戻		20,000		
〃	歳出		5,400,000		
夕	雑部金受入	400,000			
夕	雑部金拂出		100,000		
夕	回送受入	1,000,000			
夕	回送拂出		5,000,000	借	41,950,000
何	歳入	1,350,000			
〃	歳出		1,500,000		
夕	歳出仕拂取消	50,000			
夕	歳出未渡金拂出		300,000	夕	41,550,000
	何月分合計	53,870,000	12,320,000		

百卅一

前年度繰越金					
年月日	摘要	借	貸	借或入貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	前年度縣稅歲出剩餘金受入		50,000,000	貸	50,000,000
	何月分計	0	50,000,000		

百卅二

(第七號書式)

明治何年度

現金出納簿

長野縣本金庫

現金

年月日	摘要	借		貸		借或貸	残
		円	銭	円	銭		
何何	受入	55.280	000				
何	拂出			6.930	000	借	48.350 000
何	受入	1.405	000				
何	拂出			1.800	000	ク	47.955 000
	何月分合計	56.685	000	8.730	000		
何	何々	0					
何	何々			0			
何	何々			0		何	0
	何月分合計	0		0			
	累計	0		0			

本口座ハ本支金庫ノ收入額トス
出額ノミヲ記載スルモノトス

縣費

何郡役所		何年度恩給基金歳入		總計	
年月日	摘要	収入額	累計		
明治何年					
何	何月何日收入	200000	200000		
	何月分計	200000			

百卅五

何郡役所		何年度恩給基金歳入		總計	
年月日	摘要	収入額	累計		
明治何年					
何	何月何日收入	150000	150000		
	何月分計	150000			

百卅四

何郡役所		何年度縣歲入			
年月日	摘要	收入額		累計	
明治何年	何月何日	何日收入	何日收入	何日累計	何日累計
		2.100.000		2.100.000	
	何月分計	2.100.000			

縣費

百卅七

何郡役所		何年度縣歲入			
年月日	摘要	收入額		累計	
明治何年	何月何日	何日收入	何日收入	何日累計	何日累計
		900.000		900.000	
	何月分計	900.000			

百卅六

何郡役所		何年度縣歲出			
年月日	摘要	支出額		累計	
明治何年	何月何日	何	何	何	何
	何月何日支出	650	000	650	000
	何月分計	650	000		

縣費

百卅九

(第八號書式)

明治何年度歲入金

名 麻 內 譯 簿

長野縣本金庫

備考 本簿ハ各麻別種目毎ニ口座ヲ設ケ
支金庫日計表ニ依リ登記スヘシ

百卅八

縣費

何郡役所		何年度縣歲出			
年月日	摘要	支出額		累計	
明治何年		円	銭厘	円	銭厘
何	何	何	何	何	何
	何月何日支出	410	000		
	△ 下戻	△ 10	000	400	000
	△ 何月何日現金仕拂取消	△ 5	000	395	000
	何月分計	410	000		
	△ 戻入及仕拂取消合計	△ 15	000		
	何月分純合計	395	000		

百四十一

何警察署		何年度縣歲出			
年月日	摘要	支出額		累計	
明治何年		円	銭厘	円	銭厘
何	何	何	何	何	何
	何月何日支出	200	000	200	000
	何分計	200	000		

百四十

縣費

何郡役所				
年月日	摘要	受	拂	残
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
何 何	何月何日受拂	250000	100000	150000
	何月分計	250000	100000	
何郡役所				
年月日	摘要	受	拂	残
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
何 何	何月何日受拂	200000	50000	150000
	何月分計	200000	50000	

百四十三

(第九號書式)

明治何年度歳出金

各 麻 内 課 簿

長野縣本金庫

備考 本簿ハ各麻別種目毎ニ口座ヲ設ケ
支金庫日計表ニ依リ登記スヘシ

百四十二

振替金					
年月日	摘要	借	貸	借或ハ貸	残
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	本口座ハ支金庫間ノ振替金ヲ現金ノ發着シタル日ニ於テ登記スルモノトス				

縣費

百四十五

(第十號書式)

明治何年度雜部金

各麻内譯簿

長野縣本金庫

備考、本簿ハ各麻別ニ口座ヲ設ケ支金庫日計表ニ依リ登記スヘシ

百四十四

何郡役所		雜部金			
年月日	摘要	借	貸	借或ハ貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何	何 雜部保管金拂込書 第何號		100 00 0		
何	何 雜部金拂込通知書 第何號		150 00 0		
ノ	引出切符第何號	100 00 0		貸	150 00 0
	何月分合計	100 00 0	250 00 0		
入札保証金其他一時ノ預リ金ハ別扱ニ爲 シ本口座ヘハ登記セサルモノトス					

縣費

百四十七

回送金					
年月日	摘要	借	貸	借或ハ貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何	何 縣本金庫ヨリ回送受入		2 000 00 0		
ノ	ノ 回送拂出	1 200 00 0		貸	800 00 0
	何月分計	1 200 00 0	2 000 00 0		
本口座ハ本支金庫間ノ回送金ヲ 現金ノ發着シタル日ニ於テ登記 スルモノトス					

百四十六

縣費

何郡役所		何年度縣歲出			
年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何	仕拂	410000			
何	△戻入		△10000	借	400000
何	△仕拂取消		△5000	少	395000
	何月分合計	410000	0		
	△戻入及仕拂取消合計	△15000			
	何月分純合計	395000	0		

百四十九

何警察署		何年度縣歲出			
年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
明治何年		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何	何仕拂	200000	0	借	200000
	何月分計	200000	0		

百四十八

縣費

何郡役所		何年度縣歲入					
年月日	摘要	借		貸		借或入貸	殘
		円	銭厘	円	銭厘		
明治何年	何何			1,500	000		
	徴税令書何枚						
	ノ 納入告知書何枚			500	000		
	ノ 納付書何枚			100	000	貸	2,100,000
	何月分合計	0		2,100	000		

百五十一

何郡役所		何年度恩給基金歲入					
年月日	摘要	借		貸		借或入貸	殘
		円	銭厘	円	銭厘		
明治何年	何何			200	000	貸	200,000
	納入告知書何枚						
	何月分計	0		200	000		

百五十

(第十一號書式)

明治何年度

現金出納簿

何地縣支金庫

備考
本簿ハ年度毎ニ區分關製スヘシ

現金

年月日	摘要	借		貸		借或ハ貸	残
		円	銭厘	円	銭厘		
明治何年	何歳						
	何歳	2,300,000					
	何歳	2,000,000					
	何歳			410,000			
	何歳			200,000			
	何歳	10,000					
	何歳	250,000					
	何歳			100,000			
	何歳			1,200,000		借	2,650,000
	何歳	5,000				ク	
	何月分合計	4,565,000		1,910,000			

縣費

何郡役所 土木費									
年月日	摘要	仕拂豫算額	仕拂切符受領済額				仕拂豫算残額		
			切符受領額	現金仕拂額	仕拂未済額				
明治何年何月何日		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
	仕拂豫算額	8,000.00	0						
	ノ 案内仕拂切符第何號第何號		160.00						
	ノ 現金仕拂額			160.00	0			7,840.00	
	何月分計	8,000.00	160.00	160.00					

百五十五

何警察署 何年度警察費									
年月日	摘要	仕拂豫算額	仕拂切符受領済額				仕拂豫算残額		
			切符受領額	現金仕拂額	仕拂未済額				
明治何年何月何日		円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘	円 銭 厘
	仕拂豫算額	5,000.00							
	ノ 案内仕拂切符第何號第何號=至ノ		200.00						
	ノ 現金仕拂額			200.00	0			4,800.00	
	何月分計	5,000.00	200.00	200.00					

百五十四

(第十二號書式)

明治何年度歳出金

支出簿

何地縣支金庫

何郡役所 何年度郡吏員給料旅費及廳中諸費

年月日	摘要	仕拂豫算額 円 銭 厘	仕拂切符受領済額			仕拂豫算残額 円 銭 厘
			切符受領額 円 銭 厘	現金仕拂額 円 銭 厘	仕拂未済額 円 銭 厘	
何	仕拂豫算額	5.000.000				
ノ	案内仕拂切符第何號 ヨリ第何號ニ至ル及 仕拂切符第何號		140.000			
ノ	現金仕拂額			100.000		
ノ	集合仕拂切符第何號 ヨリ第何號ニ至ル		150.000			
ノ	現金仕拂額			150.000		
ノ	△返納告知書第何號		△10.000	△10.000	40.000	4.720.000
何	△仕拂豫算減額	△200.000				
ノ	△仕拂切符第何號何々 事故ニ依リ仕拂取消			△5.000	45.000	
ノ	△案内仕拂切符第何號 返付		△10.000		35.000	4.530.000
	何月分合計	5.000.000	290.000	250.000		
ノ	△豫算減額返納仕拂 取消及切符返付合計	△200.000	△20.000	△15.000		
	何月分純合計	4.800.000	270.000	235.000		

縣費

明治何年何月何日 縣金庫現在金内譯表 (第十三號書式ノ乙)		
摘	要	金額
	何地縣支金庫 何月何日現在	2,650,000
	何地 " 何月何日現在	2,250,000
	計	4,900,000
	長野本金庫	41,950,000
	合計	46,850,000
	回送途中	1,500,000
	總計	48,350,000

長野縣本金庫印

振替ノ途中ニ係ルモノア
ルトキハ回送途中ヘ併算
スルモノトス

百五十九

明治何年何月何日 現金出納日計表 (第十三號書式ノ甲)				
第何號	摘要	受	拂	殘
	縣本金庫			
	前日殘高	0		
	前年度繰越金	50,000,000		
	何年度縣歲入	1,070,000		
	" 下戻	20,000		
	何年度恩給基金歲入	50,000		
	何年度縣歲出		5,000,000	
	何年度恩給基金歲出		400,000	
	雜部金	400,000	150,000	
	回送金	1,000,000	5,000,000	
	計	52,500,000	10,550,000	41,950,000
	縣支金庫			
	前日殘高	0		
	何年度縣歲入	3,000,000		
	何年度恩給基金歲入	350,000		
	何年度縣歲出		1,260,000	
	" 戻入		10,000	
	雜部金	450,000	150,000	
	回送金	3,500,000	1,000,000	
	計	7,300,000	2,400,000	
	合計	59,800,000	12,950,000	46,850,000

長野縣本金庫印

縣出納宛

百五十八

縣費

第何號 明治何年何月分 何年度歳入金月計對照表 (第十四號書式)					
摘要	前月迄收入高		本月收入高		合計
	円	銭	円	銭	
何年度縣歳入	0		1,370,000		
△ク 下戻			△20,000		1,350,000
何年度恩給基金歳入	0		50,000		50,000
合計	0		1,400,000		1,400,000

書面之通相違無之候條證明有之度候也

明治何年何月何日

長野縣本金庫又ハ何地縣支金庫印

縣廳又ハ何所出納吏官職氏名宛

書面ノ金額調査候處相違無之ニ付証明候也

明治何年何月何日

縣廳又ハ何所出納吏官職氏名印

是ヨリ以下ハ出納吏ニ於テ記載スルモノナリ

百六十一

第何號 明治何年何月何日 現金出納日計表 (第十三號書式ノ丙)					
摘要	收入額		支出額		備考
	円	銭	円	銭	
前日現在金	0				
何郡役所 何年度縣歳入	2,100,000				
ク 何年度恩給基金歳入	200,000				
ク 何年度縣歳出			410,000		
ク △ク 戻入			△10,000		
何警察署 何年度縣歳出			200,000		
何郡役所 雜部金	250,000		100,000		
回 送金	2,000,000		1,200,000		
振 替金			0		
合計	4,550,000		1,900,000		
現在金			2,650,000		

何地縣支金庫印

長野縣本金庫宛

百六十

明治何年何月何日 第何號 何年度雜部金月計對照表 (第十六號書式)		
摘 要	金 額	
	円	銭
前月ヨリ越-高	0	
本月受入高	400000	
各 計	400000	
本月仕拂高	150000	
合 計	150000	
差引翌月へ越高	250000	

書面之通相違無之依テ証書何枚及送付候條証
明有之度候也
明治何年何月何日
長野縣金庫又ハ何地縣支金庫印
縣廳又ハ何所出納吏官職氏名宛

書面之金額調査候處違相之無ニ付証明シ証書
何枚及返却候也
明治何年何月何日
縣廳又ハ何所出納吏官職氏名印

於テ記載スルモノナリ
是ヨリ以下ハ出納吏ニ

明治何年何月何日 第何號 何年度歳出金月計對照表 (第十五號書式)			
摘 要	仕拂切符受領濟印		
	前月迄累計	本月分	合 計
	円	銭	円
何年度縣歳出	0	7,300,000	
△ 定額戻入		△ 0	
△ 案内仕拂切符取消		△ 0	7,300,000
何年度恩給基金歳出	0	400,000	400,000
合 計	0	7,700,000	7,700,000

備考
縣支金庫ハ各款ニ區分
記載スヘシ

仕拂切符受領濟額	7,700,000
現金仕拂額	
本月分	7,500,000
定額戻入	△ 0
現金仕拂取消	△ 50,000
本月分小計	7,450,000
前月迄累計	0
現金仕拂額合計	7,450,000
現金未拂額	250,000

書面之通相違無之依テ証書何枚及送付候條
証明有之度候也
明治何年何月何日
長野縣本金庫又ハ何地縣支金庫印
縣廳又ハ何所出納吏官職氏名宛
「書面之金額調査候處相違無之ニ付証明シ証書
何枚及返却候也
明治何年何月何日
縣廳又ハ何所出納吏官職氏名印

モ記吏下是
ノ載ニハヨ
ナス於出リ
リルヲ納以

○長野縣訓令第三十一號

長野縣金庫檢查規程別紙之通相定ム

明治三十二年三月二十日

長野縣知事 園山 勇

內務部
縣金庫

長野縣金庫檢查規程

第一條 縣金庫ノ檢查ハ毎年一回之ヲ行フ但必要ト認ムルトキハ臨時檢查ヲ行フコトアルヘシ

第二條 檢查員縣金庫ニ臨檢スルトキハ檢査章ヲ携帶シ之ヲ縣金庫出納役又ハ其代理人ニ示スヘシ
縣支金庫檢査ノトキハ前以テ縣本金庫ニ其旨ヲ通知スルモノトス但前條但書ノ場合ハ此限リニアラス

第三條 檢査員縣金庫檢査ノトキハ縣金庫出納役又ハ其代理人ヨリ現金出納簿ノ計算表及現金殘高仕譯書ヲ徴シ之ヲ關係帳簿ノ員額並ニ現在金ニ對查シ尙必要ト認ムルトキハ現金出納ニ關スル一切ノ証憑書類ヲ徴シ精細ニ之ヲ檢査スヘシ

第四條 檢査員前條ノ檢査ヲ了シタルキハ檢定書二通ヲ製シ縣金庫出納役又ハ其代理人ヲシテ之ニ署名捺印セシメ一通(甲)ハ其署名人ニ交付ヘシ

第五條 檢査員縣金庫ノ檢査ヲ了シタルトキハ檢査報告書ヲ作り之ニ第三條ノ計算書類及前條ノ檢定書(甲)ヲ添ヘ知事ニ提出スヘシ
(用紙半紙野紙)

明治何年何月何日現金殘高仕譯書

一金何程

長野縣本(某支)金庫
縣(何々)歲入金現在高

一金何程

縣廳又ハ某麻分
縣(何々)歲出金現在高

一金何程

縣廳又ハ某麻分
雜部一金現在高

一金何程

縣廳又ハ某麻分

合計金何程

內

金貨何程

銀貨何程

何々何程(現金ノ種類毎ニ掲記ス)

一金何程

歲入金回送中ニ係ル分

內

金何程

何年何月何日某金庫へ發送

縣費

但何月何日本金庫ノ通知ニヨリ送金
右明治何年何月何日現金殘高並ニ回送中ノ分書面之通相違無之候也

何年何月何日長野縣本(某支)金庫出納役又ハ(代理人)

檢査員

官氏名宛

何 某 印

乙 號

長野縣本(某支)金庫檢定書

一金何程

何年何月何日歳入金現在高

計金何程

同日 歳出保管金現在高

内

金貨何程

銀貨何程

何々何程(現金ノ種類毎ニ掲記ス)

何年何月何日回送中

一金何程
明治何年何月何日檢査候處書面ノ通相違無之候也

檢査員

年月日

官氏名 印
某金庫出納役又ハ代理人

何 某 印

檢査員印

出納役又ハ代理人印

甲 號

長野縣本(某支)金庫檢定書

一金何程

何年何月何日歳入金現在高

計金何程

同日 歳出保管金現在高

内

金貨何程

銀貨何程

何々何程(現金ノ種類毎ニ掲記ス)

何年何月何日回送中

一金何程
明治何年何月何日檢査候處書面ノ通相違無之候也

檢査員

年月日

官氏名 印
某金庫出納役又ハ代理人

何 某 印

○長野縣告示第八十五號

長野縣金庫名稱位置及出納區域本年四月一日ヨリ左表ノ通相定ム

明治三十二年三月二十八日

長野縣知事 園山 勇

長野縣金庫名稱位置及出納區域

金庫名	位	出納區域
長野縣本金庫	長野市	長野縣廳
全 白 田支金庫	南佐久郡白田町	南佐久郡役所、白田警察署、蠶種檢査所
全 岩村田支金庫	北佐久郡岩村田町	北佐久郡役所、岩村田警察署、岩村田梅毒病院、蠶種檢査所
全 上 田支金庫	小縣郡上田町	小縣郡役所、上田警察署、上田監獄支署、長郡中學上田支校、上田梅毒病院、蠶種檢査所
全 上 諏訪支金庫	諏訪郡上諏訪町	諏訪郡役所、上諏訪警察署、諏訪梅毒病院、蠶種檢査所
全 伊 那支金庫	上伊那郡伊那町	上伊那郡役所、伊那警察署、蠶種檢査所

全 飯 田支金庫	下伊那郡飯田町	下伊那郡役所、飯田警察署、飯田監獄支署、松本中學飯田支校、飯田梅毒病院、飯田測候所、蠶種檢査所
全 福 島支金庫	西筑摩郡福島町	西筑摩郡役所、福島警察署、種檢査所
全 松 本支金庫	東筑摩郡松本町	東筑摩郡役所、松本警察署、松本監獄支署、松本中學校、松本梅毒病院、松本測候所、蠶種檢査所
全 豐 科支金庫	南安曇郡豊科村	南安曇郡役所、豊科警察署、蠶種檢査所
全 大 町支金庫	北安曇郡大町	北安曇郡役所、大町警察署、蠶種檢査所
全 埴 崎支金庫	更級郡埴崎村	更級郡役所、埴崎警察署、蠶種檢査所
全 屋 代支金庫	埴科郡屋代町	埴科郡役所、屋代警察署、蠶種檢査所
全 須 坂支金庫	上高井郡須坂町	上高井郡役所、須坂警察署、蠶種檢査所
全 中 野支金庫	下高井郡中野町	下高井郡役所、中野警察署、平穩梅毒病院、蠶種檢査所
全 飯 山支金庫	下水内郡飯山町	下水内郡役所、飯山警察署、蠶種檢査所
全 長 野支金庫	長野市	上水内郡役所、長野警察署、師範學校、長野中學校、監獄署、農事試驗場、長野測候所、長野梅毒病院、蠶種檢査所

○長野縣達第五十號

株式會社長野農工銀行

明治三十二年四月一日以降縣金庫ヨリ保管金ノ擔保トシテ提供スヘキ國債証券並ニ増擔保トシテ提供シ得ヘキ有價証券ノ種類價格左ノ通相定ム

長野縣知事 園山 勇

一國債証券

舊公債証券

時價ノ一割減

金錄公債証券

額面百圓ニ付九十圓

海軍公債証券

全 上

整理公債証券

全 上

軍事公債証券

全 上

帝國五分利公債証券

全 上

一有價証券

株式會社信濃銀行株券

拂込濟金額十分ノ八

株式會社六十三銀行株券

全 上

株式會社第十四銀行株券

全 上

株式會社第十九銀行株券

全 上

株式會社百十七銀行株券

全 上

株式會社佐久銀行株券

全 上

株式會社信濃商業銀行株券

全 上

株式會社北安銀行株券

全 上

株式會社上田銀行株券

全 上

株式會社須坂銀行株券

全 上

株式會社鳩慶社銀行株券

全 上

株式會社松本銀行株券

全 上

株式會社南安銀行株券

全 上

株式會社松本貯金銀行株券

全 上

株式會社諏訪銀行株券

全 上

株式會社高井銀行株券

全 上

一日本銀行ニ於テ擔保品トシテ預置スル銀行會社ノ株券

但シ其價格ハ日本銀行ノ定ムル所ニ據ル

○長野縣達第五十七號

縣 金 庫

縣金庫ニ於テ使用スル印章ハ曲尺六分ノ角形トシ縣本金庫ハ長野縣本金庫支金庫ハ長野縣何地支

金庫ノ文字(横書)ヲ彫刻スヘシ

明治三十二年三月三十一日

長野縣知事 園山 勇

○長野縣訓令第三十三號

內 務 部

警察部
 監獄署
 那役所
 警察署
 監獄支署
 縣立學校
 縣立病院
 縣立農事試驗場
 測候所
 蠶種檢査所
 縣金庫

雜部金取扱規程別冊之通相定ム
 明治三十二年三月二十四日

長野縣知事 園山 勇

雜部金取扱規程

- 第一條 此規程ニ於テ雜部金ト稱スルハ左ノ金種ヲ云フ
 - 一 縣ノ經濟ニ屬スル工事又ハ物件ノ買賣貸借ニ係ル保証金
 - 二 縣ノ事業ニ對スル採否未定ノ寄付金
 - 三 縣稅滯納處分ニ係ル差押金及物件公賣代
 - 四 他應ノ委託ヲ受ケタル縣稅滯納處分徵收金

五 尋常中學校ニ於テ保管スル生徒學資金

六 罹災者若クハ貧民救恤ノ寄贈金

七 前各號ノ外縣ノ經濟ニ準スヘキ一時取扱金

- 第二條 雜部金ハ當該廳廨ニ於テ管理シ其現金ハ縣金庫ヲシテ保管出納ヲ爲サシムヘシ
- 第三條 雜部金ノ出納ハ知事ノ命令ニ依リ出納吏之ヲ執行スルモノトス
 - 各廨ニ於ケル雜部金出納ノ命令ハ其廨長ニ於テ之ヲ爲スヘシ
- 第四條 雜部金ヲ收納セントスルトキハ知事又ハ各廨長ニ於テ雜部金拂込通知書(第一號)ヲ製シ出納吏ニ送付シテ之ヲ納人ニ交付セシムヘシ但納人ヲシテ出納吏ニ現金ヲ納付セシムル場合ハ此限リニアラス
- 第五條 出納吏ハ前條雜部金拂込通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ納人ニ交付シ納人ヲシテ之ニ現金ヲ添ヘ縣金庫ニ拂込ミ該書ニ接續セル保管証ニ式ノ如ク記入捺印ヲ受ケ即時之ヲ差出サシメ保管証ハ切離シテ留置領收証書ハ納人ニ交付スヘシ
- 第六條 出納吏ニ於テ現金ヲ領收シタルトキハ即日雜部金拂込書(第二號樣式)ヲ添ヘ之ヲ縣金庫ニ拂込ミ其保管証ヲ徵スヘシ
- 第七條 出納吏ハ雜部金ノ仕拂ヲ要スルトキハ引出切符(第三號樣式)ヲ調製シ領收証書ト引換ニ之ヲ受取人ニ交付シ全時ニ案内切符ヲ縣金庫ニ送付スヘシ
 - 預リ証書ニシテ入札保証金ノ如キ直ニ還付スヘキモノハ預リ証書ノ裏面ニ式ノ如ク記入捺印シ領收証書ト引換ニ之ヲ受取人ニ交付スヘシ
- 第八條 出納吏ニ於テ雜部金ヲ歲入ニ編入スヘキ命令ヲ受ケタルトキハ縣金庫ヲ受取人トシテ引

出切符ヲ調製シ之レニ歳入金拂込書ヲ添へ縣金庫ニ送付シ其領收証書ヲ徴スヘシ
 第九條 出納吏ハ雜部金受拂簿(第四號様式)ヲ備へ種目ヲ區分シ其受拂金額ヲ登記スヘシ但必要
 アルトキハ適宜補助簿ヲ設クルコトヲ得
 本應出納吏ハ前項ニ掲クル帳簿ノ外雜部金集計簿(第五號様式)ヲ備へ廳廨ヲ區分シ各廳廨出納
 吏ノ受拂金額ヲ登記スヘシ
 第十條 出納吏ハ帳簿ノ結果ニ依リ毎月雜部金受拂報告書(第六號様式)ヲ調製シ翌月五日迄ニ之
 ヲ知事ニ提出スヘシ
 第十一條 出納吏ハ毎年度雜部金出納計算書(第七號様式)ヲ調製シ証憑書類ヲ添へ翌年度四月二
 十日迄ニ之レヲ知事ニ提出スヘシ
 第十二條 收支ノ手續其他此規程ニ掲ケサルモノハ本縣會計規則ニ據ルヘシ
 附 則
 第十三條 此規程ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

雜部金拂込通知書

第一號様式

用紙適宜縦四寸五分
横三寸三分ノモノ三枚接續

第 何 號	納 人	何
雜 部	金	何
		某
		々

一金何程

但何々

右何年何月何日限リ何々縣金庫へ納入シ其保管証ヲ得テ
 出納吏官氏名ノ領收証書ヲ受ヘシ

明治何年何月何日

知事又ハ各廨長 氏 名 印

縣金庫割印

印

縣 費

保 管 証 書

第何號	納人	何	某
雜部	金	何	々

一金何程

但何々

右保管候也

明治何年何月何日

何々縣金庫印

印

出納吏割印

領 收 証 書

第何號	納人	何	某
雜部	金	何	々

一金何程

但何々

右正領收候也

明治何年何月何日

出納吏

官氏名印

縣費

第二號樣式

用紙適宜 縱四寸五分ノモノ二枚接續
横三寸三分

雜部金拂込書

第 何 號 雜 部 金

一金何程

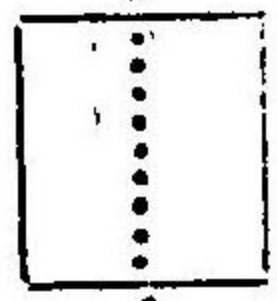
但何々(拂込ノ目的ヲ記載ス)

右 拂込 候 也

明治何年何月何日

出納吏官(職)氏 名 印

縣金庫判印



第 何 號 雜 部 金 出納吏官(職)氏名拂込

保 一金何程

但何々(拂込ノ目的ヲ記載ス)

○ 縣金庫主任ノ印

証 右 保管 候 也

明治何年何月何日

縣 金 庫 名 印

縣 費

縣費

符 切 出 引

第(100)號 雜 部 金

金(百 圓 也)

何某(又何某代理何某)渡

本行ノ金額此切符持參人ニ仕拂可有之候也

長野縣廳(又何官署)出納吏

官 氏 名 印

明治何年何月何日

長野縣本金庫(又何地支金庫)

100,000

出納
吏員

百八十一

書 內 案

第(100)號 雜 部 金

金(百 圓 也)

何某(又何某代理何某)渡

此引出切符本日發行ス

長野縣廳(又何官署)出納吏

官 氏 名 印

明治何年何月何日

長野縣本金庫(又何地支金庫)

出納
吏印

百八十

寄 附 金				
年月日	摘 要	受	拂	残
明治何年		円 銭	円 銭	円 銭
何 何	何々工事出願 = 係ル分何町村 某納	5.000.000		5.000.000
何	何々工事出願 = 係ル分採納 = 付縣歳入ノ更訂		5.000.000	0
	何月分合計			

縣
費

百八十三

原 符	
第(100)號	雜 部 金
金(百 圓 也)	
何某(又何某代理何某)渡	
明治何年何月何日	
長野縣本金庫(又ハ何地支金庫)	

備考
(第三號様式)用紙西洋紙網内縦三寸五分横四寸ノモノ三枚接綴
一各地送金ヲ要スハモノハ仕拂切符ノ例ニ依ルヘシ

百八十二